

令和3年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 令和3年度教育目標	2
3. 公民館運営審議会	7

中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子で土いじり「親子で作ろう 夏の寄せ植え体験講座」	6
親子で土いじり「初めての陶芸にチャレンジ」	6
親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」	7
2. 青少年教育事業	8
子どもゼミナール	8
親子映画会	8
四季の草木染めワークショップ	8
手作りのしめ縄飾り	9
佐倉っ子塾 佐倉おみやげ探検隊	10
3. 成人教育事業	11
佐倉学講座「佐倉・城下町 新町周辺歴史散策」	11
佐倉学講座YouTube配信「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」	11
成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	11
冬の寄せ植え体験講座	12
千葉県文書館出前講座 房総の歴史講座「幕末・明治の西洋医と房総」	12
4. 高齢者教育事業	13
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」	13
5. 団体育成事業	39
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	39
6. 広報事業	39
ホームページ	39
SNS	39
YouTubeチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」	40
7. 視聴覚教材ライブラリー事業	41
親子映画会	41
視聴覚機器貸出	41

和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
子育て教室	6
楽しく家庭教育講座	6
2. 青少年教育事業	7
和田剣道教室	7
軽スポーツ大会	7

子どもゼミナール	7
子ども芸術鑑賞会	7
佐倉っ子塾 料理教室	8
佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	8
3. 成人教育事業	9
佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学	9
和田市民大学手芸教室	9
和田市民大学和田工芸講座	9
和田市民大学地区交流会	10
和田地区防災講習会	10
合同研修会	10
4. 団体育成事業	11
和田地区青少年育成住民会議	11
和田小学校PTA民俗資料収集委員会	11
和田はたおり保存会	11
5. 広報・展示事業	12
公民館だより	12
歴史民俗資料室展示	12
6. 図書事業	13
図書貸し出し	13

弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
子育て教室	6
2. 青少年教育事業	7
佐倉っ子塾 弥富剣道教室	7
星空観察会	7
佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾	7
3. 成人教育事業	9
グラウンドゴルフ大会	9
地域防災講座	9
「くらしの講座」布ぞうりづくり	9
佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」	9
佐倉学入門講座 「弥富野草散策観察会」	10
佐倉学入門講座 「竹炭づくり体験」	10
4. 団体育成事業	11
ふるさと弥富を愛する会	11
弥富地区青少年健全育成住民会議	11
5. 広報活動事業	11
公民館だより	11
6. 図書事業	11
図書貸し出し	11

根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	6
ちば探訪	7
こども工房 家族とつくるクリスマス木工クラフト	7
2. 青少年教育事業	9
根郷防災キャンプ	9
子ども体験講座 おもしろ科学実験隊	9
子ども体験講座 勾玉づくり	10
子ども体験講座 絵画教室	10
佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども水辺探検ツアー	10
3. 成人教育事業	11
根郷寿大学	11
シニアのための健康づくり講座	12
シニア向け初めてのスマートフォン講座	13
園芸教室 ハーブに親しもう	13
防災講座	14
千葉県文書館出前講座 千葉県における電気事業の変遷と発展	14
佐倉学入門講座 写真に見る佐倉の近・現代	14
佐倉学入門講座 衛生行政のはじまりと伝染病予防対策	14
佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪	15
佐倉学体験講座 こんにゃく作り体験	16
4. 団体育成事業	17
根郷地区社会教育関係団体への支援	17
根郷地区青少年育成住民会議	17
南部地区子ども会育成会連絡協議会	17
定期利用者懇談会	17
調理室利用者懇談会	17
5. 広報事業	18
根郷公民館だより	18
6. 図書事業	18
図書の貸出・返却	18

志津公民館

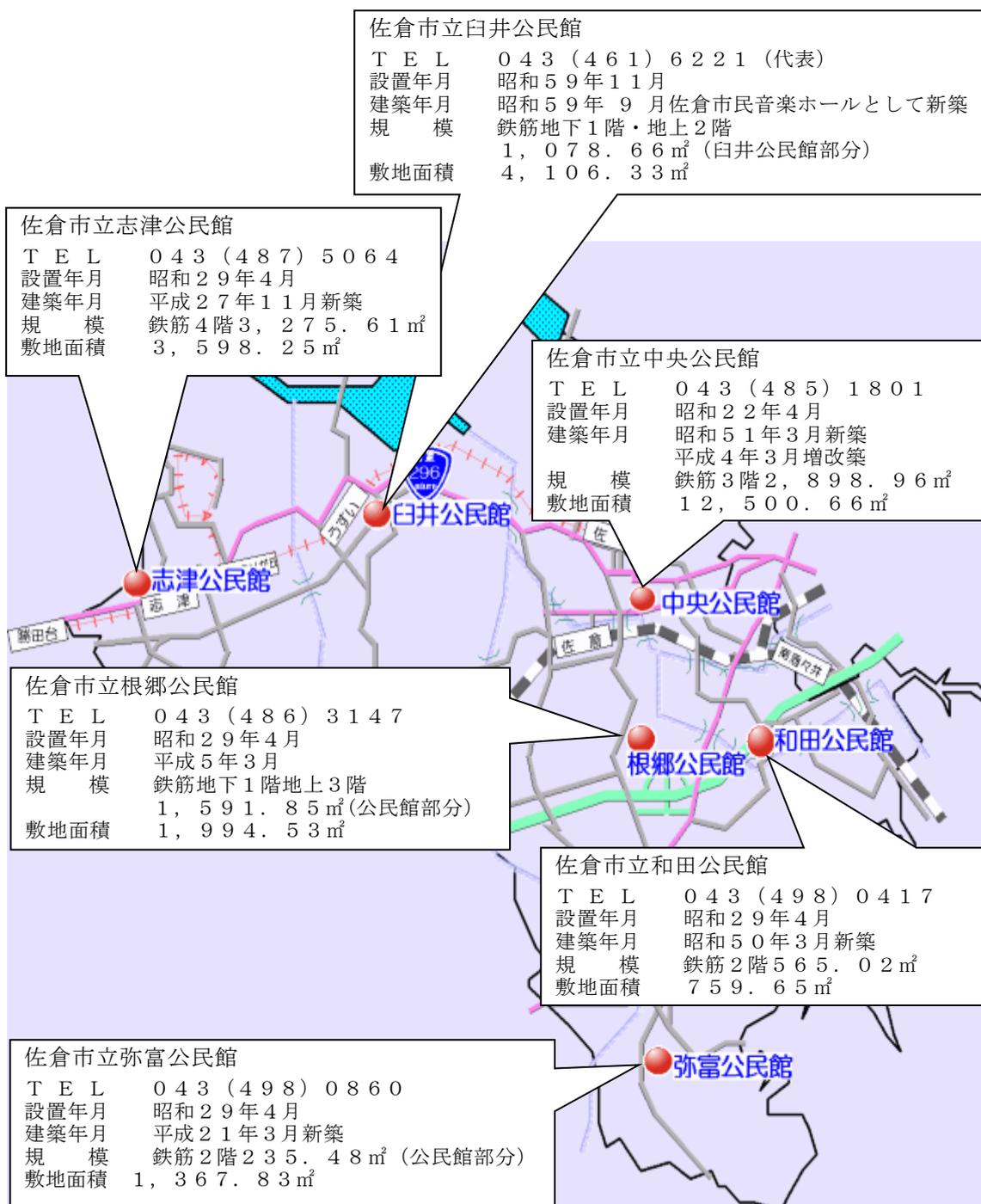
志津地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
笑顔で子育て応援講座	6
2. 青少年教育事業	7
佐倉っ子塾 志津子ども教室	7
3. 成人教育事業	8

しづ市民大学（第32期）	8
佐倉学特別講座（講演会） 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源	10
佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ	11
佐倉学入門講座 佐倉道を歩く	11
佐倉学入門講座 成田道を歩く	12
包丁について学ぶ	13
4. 団体育成事業	14
サークル運営研修会（書面開催）	14
調理室利用サークル懇談会	14
志津地区社会教育関係団体への援助	14
公民館園芸ボランティア団体への支援	14
5. 広報・展示事業	15
志津公民館だより	15

白井公民館

白井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
BOOK&PARK（公園ライブラリー）	6
ストリートオルガンコンサート	6
2. 青少年教育事業	7
水辺観察会「夏休み子供水辺探検ツアー」	7
バックステージ・ツアー	7
星空観測教室	7
小6理科実験室	7
3. 成人教育事業	8
佐倉学体験講座「バスハイク」	8
佐倉学専門講座「千葉白井家譜」刊行記念～秀胤と白井氏～	8
ちょっといいところ見て歩き	8
防犯講座	8
4. コミュニティ事業	9
コミュニティカレッジさくら	9
5. 団体育成事業	12
白井地区子ども会育成会連絡協議会（白井地区子連）	12
6. 広報・展示事業	13
白井公民館だより	13
まちづくり資料室の展示	13
サークル展示活動支援	13
7. 図書事業	15

1. 佐倉市の公民館



2. 令和3年度 教育目標

〔基本理念〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

わたしが輝き、地域が輝き、未来が輝く、“佐倉のひとづくり”

〔めざすべき佐倉市民像〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- (1) 思いやりのある豊かな心を持ち、自然や文化を大切にする人
- (2) よく学び、自ら考え、進んで行動する人
- (3) 佐倉への愛着と国際的な視野を持って社会に関わる人

〔基本方針〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- [1] 子どもの「輝く」力の向上をめざす【学校教育】
- [2] 子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす【教育環境】
- [3] 市民や地域の「輝く」力の向上をめざす【生涯学習】
- [4] 佐倉の「輝く」力の向上をめざす【文化・芸術】

〔令和2年度施策の主な成果〕

令和2年度は、『第3次佐倉教育ビジョン（令和2年度～令和13年度）』に基づき、『佐倉教育ビジョン前期推進計画（令和2年度～令和5年度）』を策定しました。事業内容の見直しや新たな視点による事業展開などを計画に反映させることにより、令和5年度末の達成目標に向けて佐倉の教育の充実に努めました。

施策の主な成果について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業・イベントの中止や延期、規模の縮小などが相次ぎましたが、『佐倉教育ビジョン前期推進計画』の重点事業から特色のあるもの、新たに取組んだ事項など主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

- (1) 確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施しました。調査結果をもとに各研修会で基礎学力及び活用力向上のための指導・助言を行いました。また、過去3年間の経年変化データや調査分析結果を全小中学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みました。
- (2) 佐倉学道徳教材検討委員会を開催し、佐倉学道徳教材及び指導案の改訂を検討しました。また、平成29年度末に完成した佐倉学道徳教材（6教材）を各学校に配付し、全小中学校で教材を活用した授業を実践することで、地域性を生かした道徳教育を推進しました。
- (3) 「佐倉学」の推進における取組として、各小学校6学年児童に改定版佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」を配付するとともに、来年度に向けて佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の改訂・配付準備を進めました。また、研究モデル校である南部中学校において「佐倉学を通じた教科横断的な学習の工夫」についての研修を進めました。さらに、令和2年度「佐倉学検定」を実施し、小中学生約1,000名が受験しました。

- (4) 学校給食について、新型コロナウイルス感染予防のため、衛生面に配慮した給食を実施するとともに、全小中学校で「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」、「クララホイットニー献立」、「佐倉うまいもの自慢給食」など特色ある給食を実施しました。また、食に関する指導の全体計画の作成が完了しました。
- (5) 平成28年度から計画的に進めている学校体育館の屋根等落下防止対策について、令和2年度は弥富小学校において改修工事を実施しました。
- (6) 学校の教育環境の向上を図るため、内郷小学校、千代田小学校、志津小学校、井野小学校、間野台小学校、山王小学校において、老朽化したトイレの改修工事を実施しました。
- (7) 衛生的で機能的な給食施設・設備を維持するため、耐用年数を超えた給食備品等の購入や給食施設等の修繕等を行いました。
- (8) 少人数によるきめ細やかな指導を行うため、小規模特認校である弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置しました。また、児童数増加に向けての取組として、小規模特認校公開授業等を実施しました。
- (9) 教育支援委員会を開催し、適正な就学に向けた審議を行うとともに、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めました。
- (10) アイアイプロジェクト活動を推進し、地域の方々と連携して児童生徒の登下校時の安全確保に努めるとともに、学校と地域の交流を図りました。また、警備業者委託による登下校時の巡回パトロールや、教育委員会事務局職員による青色回転灯装備車を用いた巡回パトロールを実施し、児童生徒の登下校時の安全確保に努めました。
- (11) 平成27年度に策定した「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、全小中学校において定期的な生徒指導会議を開催するとともに、学校支援アドバイザー会議を月に1度開催し、よりきめ細かで具体的な支援を進めることができるよう、情報交換を行いました。
- (12) 児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、面接・電話・訪問相談を行い、学校との連携を図りながら指導・支援を行うとともに、学校教育相談員による適応指導教室の運営を通して、不登校傾向の児童生徒の居場所を確保し、学校と連携して学校復帰に向けた指導・支援を行いました。また、心の教育相談員やスクールカウンセラーを学校に派遣し、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応しました。
- (13) 幼児から大人まで楽しめるすばなしや図書等の修理方法などの動画を市立図書館のホームページに掲載し、読書普及の推進に努めました。
- (14) 『知っておきたい！こどものきもち～自己肯定感を育む上手な聴き方～』と題した家庭教育講演会を開催し、家庭の教育力の向上を図りました。令和2年度は新たにオンライン（ZOOM）での参加も可能としました。また、就学前児童保護者を対象とした家庭教育リーフレットを作成し、配布しました。
- (15) （仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設について、令和4年度の完成に向け、施設建設工事を開始しました。

- (16) 「新しい生活様式」を踏まえ、図書館における感染リスクを低減し、併せて利便性の向上を図るため、利用者自身が貸出返却処理を行う自動貸出機、自動返却機等を導入しました。また、安心して利用できるよう、利用者自身が操作する図書除菌機を導入しました。
- (17) 国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行うとともに、国指定15周年記念遺物展示会や講演会『注口土器が語る井野長割遺跡の交流』を開催し、普及活動に努めました。
- (18) 小中学校の休校、文化財施設などの公共施設の休館が続くなか、児童生徒に学習の機会を提供し、自宅でも社会科見学が楽しめるよう「旧堀田邸」の屋内全体をVR映像で公開し、期間中約14,000人が閲覧しました。
- (19) 「旧佐倉市立志津小学校青菅分校校舎」が国登録有形文化財として登録されました。
- (20) 文化情報誌『風媒花』第33号を発行し、芸術文化の普及促進に努めました。
- (21) 市立美術館で企画展「大正イマジユリィの世界」展、「久保浩 — 「眼と手」の力」展、「カオスモス6沈黙の春に」展を開催しました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、広報課の協力のもと、企画展の内容を紹介する映像「おうちdeミュージアム」を制作し、動画投稿サイトYouTubeで公開することで、展覧会活動の普及に努めました。
- (22) 市立美術館のミテ・ハナソウ・プロジェクトとして、ソーシャルディスタンスを踏まえたプログラムを開発し、出前授業などを行いました。また、オンライン・ワークショップ「アートって何だろう」を開催し、美術の普及に努めました。

〔令和3年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①英語科授業の充実など、きめ細かな学校教育の推進」、「②安全・安心・良好な教育環境を確保するための学校施設等の整備」、「③社会教育施設の改築等による生涯学習環境の整備」の3点が挙げられます。

この3点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

（１）学力向上・学習内容の充実に取り組みます

- ・佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、英語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。
- ・英語指導助手を全小中学校に派遣し、外国語・外国語活動の授業や国際理解教育の充実を図ります。

（２）豊かな人間性を育む教育に取り組みます

- ・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査し、その結果から佐倉学道徳教材検討委員会において教材等の改訂を行います。

- ・佐倉学道徳副読本を小中学校で活用することにより、児童生徒の郷土を愛する心を育てます。
- ・体力優良証交付などを行うことにより、児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を図ります。
- ・学校給食への地場産物の使用などを通じて児童生徒への食育を推進します。

(3) 良好な学習環境を整備します

- ・【継続】老朽化したトイレの全面改修を進めることで、学習環境の向上を図ります。
- ・小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ・老朽化した給食施設・設備の補修工事を実施し、安全・安心な環境の下で円滑な学校給食運営を図ります。
- ・小規模特認校として指定された弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。
- ・特別な支援を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。

(4) 地域に開かれた学校運営を行います

- ・教育懇話会の開催を通して、市民と共に佐倉の教育について考え、今後の教育施策に生かすことで地域に信頼される学校づくりを目指します。
- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めます。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域が連携する取組を推進します。

(5) 安心して学校に通える環境を提供します

- ・「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、学校支援アドバイザーを巡回派遣するなど、いじめ防止のための対策を推進します。
- ・児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員を教育センターと適応指導教室へ配置するとともに、8小学校へ心の教育相談員を配置し、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、教育相談体制を充実させます。

(6) 市民の生涯学習を推進します

- ・佐倉の教育への関心を高めるため、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。
- ・地域との連携を持ちながら住みよいまちづくりを考え、実践を通じた生涯学習の場として市民カレッジを運営します。
- ・地域人材の育成を図るための学習の場であるコミュニティカレッジさくらを運営します。
- ・佐倉学事業の充実を図ります。
- ・家庭の教育力向上のため、学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。

(7) 生涯学習の環境を整備します

- ・【継続】（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設の整備を進めます。

(8) 歴史・文化資産を保全・活用します

- ・国指定史跡である井野長割遺跡の適切な維持管理を行います。
- ・歴史文化資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやリーフレット等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的な魅力について市内外に周知します。

(9) 芸術文化の普及を推進します

- ・文化情報誌『風媒花』の発行等を通して、芸術文化の普及を促進します。

3. 公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（期間 令和2年7月1日～令和4年6月30日）

氏 名	所 属 等	備 考
金田 一幸	千葉県立佐倉南高等学校長	
三村 宏治	佐倉市立志津中学校長	
平野 一久	佐倉市立下志津小学校長	
鷹野 千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
松崎 裕美子	人権擁護委員	
岩波 二三子	学識経験者	
藤崎 言行	学識経験者	
浅井 俊彦	学識経験者	
林 義之	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
浅野 俊雄	学識経験者	
吉光 孝一	公募	
田渕 敦子	公募	
池田 孝子	公募	
片山 喜久子	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とJR総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成18年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成27年3月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成28年4月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成11年3月に移転・建設された千葉県印旛合同庁舎がある。JR佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩15～20分、最寄りバス停から10分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 佐倉地区：面積 約20.6km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 佐倉地区：住基人口 27,901人 （佐倉市：住基人口 171,747人）
- 佐倉地区：人口密度 1,354人/km² （佐倉市：人口密度 1,656人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 地域への関心を高め、地域の特徴を活かした事業を、市民カレッジのほか、様々な世代に向けて実施していく。
- 施設利用者の安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、感染状況を見極めながら慎重に実施していく。
- 地域の活動諸団体と連携し、事業を展開する中で、団体の活動の充実を図る。
- 限られた予算で効果的に、優先度を考慮しながら修繕等を進めていく。

事業内容

1. 施設・備品の提供

- (1) 施設の提供（団体、グループ単位）
 - ① 開館時間 午前9時～午後9時
※月曜日・祝日・夜間利用がない場合、午後5時まで
 - ② 利用区分 1時間単位
 - ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）

- (2) 備品の提供（団体、グループ単位）
館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	5,930	5,364	4,720	1,649	3,490
利用人数 (人)	103,212	104,261	90,628	25,061	44,767
開館日数 (日)	333	333	318	272	334

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対応

令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・千葉県に緊急事態宣言が発令されたため、
開館時間は午後 8 時まで

令和 3 年 11 月 15 日～・・・調理室の貸出を再開。ただし飲食は水分補給を除き不
可とする

※開館日数が他館より多く、利用可能回数（下記）が施設により違う理由

上記のとおり調理室の貸出を再開し、また、令和 4 年 3 月 28 日に市教育委員会により
教職員の辞令交付式を行ったため

令和 3 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,804	1,651	43.4%
研修室 1	3,796	1,070	28.2%
プレイルーム	3,796	179	4.7%
研修室 2	3,799	1,051	27.7%
研修室 3	3,796	968	25.5%
調理室	1,388	70	5.0%
和室	3,796	586	15.4%
会議室	3,796	920	24.2%
アトリエ	3,796	818	21.5%
工芸室	3,796	472	12.4%
学習室 1	3,796	1,263	33.3%
学習室 2	3,796	1,107	29.2%
学習室 3	3,796	1,195	31.5%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で土いじり 「親子で作ろう 夏の寄せ植え体験講座」	小学生と保護者 10組	6/19 21名	親子で植物や野菜を育てることを通して、自然に親しみ、育てることの楽しさを感じてもらう。
	親子で土いじり 「初めての陶芸にチャレンジ！」	小学生と保護者 7組	7/31 15名 8/21 15名	親子で土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。
	親子でアート 「窓ガラスお絵かきワークショップ」	小学生と保護者 11組	8/9 25名	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子どもたちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。
青少年教育	夏休み 子どもゼミナール	小学5年生以上 と家族 20人または25人	7/27 22名 8/6 26名 11/13 25名	和田公民館と共催。星空観察や環境(エコ)等について専門の講師を招き少人数制のゼミ形式で学ぶ。
	親子映画会	小学生とその保護者	10月 1回	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
	四季の草木染めワークショップ	小学4年生 以上 10人	8/1 10名 10/10 10名 12/4 10名 3/5 動画収録	藍の生葉や落葉など身近な素材を使って草木染めを学ぶ。
	手作りのしめ縄飾りを作ろう	小学4年生から高校生とその保護者 10人程度	12/26 8名	しめ縄を作ることで、日本の伝統文化を学ぶ。
佐倉学	佐倉っ子塾 佐倉おみやげ探検隊	小学生 10人	11/13 7名	佐倉銘菓の老舗を探訪する佐倉学講座を行う。
	佐倉学講座 「佐倉・城下町・新町 周辺歴史散策」	成人 20人	3/12	佐倉地区の史跡散策(初心者向け)を行う。
	佐倉学講座 YouTube 配信 「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」	成人 20人	3/16 動画収録	座学による佐倉の歴史講座を行う。
成人教育	成人教育講座 「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	成人 30人	12/19 29名	座学と竹細工の工作体験を行う。
	冬の寄せ植え 体験講座	成人 10人	12/12 11名	コロナ禍で心身が疲れきっている中で、制作を通して、少しでも心に余裕と潤いを持つひと時とし、また、寄せ植えを習得し、きれいなまちづくりの一助とする。
	千葉県文書館出前講座 房総の歴史講座「幕末・明治の西洋医と房総」	成人 20人	8/26	幕末・明治期は、伝染病流行などに対処するため、房総では佐倉順天堂や公立千葉病院などで西洋医学が発展した。本講座では、幕末・明治期の西洋医とそれを支えた人々に焦点を当て、房総の歴史を見直していく。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
		成人 57人	5月～2月 32回	
		第2学年		
		成人 69人	5月～2月 32回	
		第3学年		
		成人 62人	5月～2月 22回	
第4学年				
成人 74人	5月～2月 23回			
団 成 体 育	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 なし	活動休止	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。
広 報 活 動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ ー 事 業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出 *ビデオ教材1369本、DVD教材214本（ニーズと公益性に配慮して更新・購入予定）

1. 家庭教育事業

親子で土いじり「親子で作ろう 夏の寄せ植え体験講座」

①開設趣旨 親子で植物や野菜を育てることを通して、自然に親しみ、育てることの楽しさを感じてもらおう。また、協力して1つの物を制作することにより、コミュニケーションを図る機会とする。さらに寄せ植えを取得し、きれいなまちづくりの一助とする。

②募集対象 小学生と保護者 10組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月19日（土） 9：30～ 12：00	寄せ植えを親子で体験する。	ハンギングバスケット協会 高橋 洋子

④講座を終えて コロナウイルス感染症のため、当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。出席者は、健康で、欠席者はいなかった。

講座は、座学から始まり、今日植える苗の特長や長持ちさせる方法・配置の仕方を学んでから、実際に体験を開始した。

受講生は、体験中、講師に積極的に質問をし、うまく形を整え、素晴らしい作品に仕上げることができた。また、講師の話術もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で講座を進めることができた。

受講者に話を聞くと、参加費が高い。という方と、妥当という方と、二分した。

アンケート結果を見ると、ほぼ「満足」と答え、自由意見欄にも、「楽しかった」「勉強になった」などの意見があり、事業としては、成功したと思う。

親子で土いじり「初めての陶芸にチャレンジ！」

①開設趣旨 親子で土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。また、陶芸の基礎を学ぶ。

②募集対象 小学生と保護者 7組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（土） 9：30～ 12：00	親子で陶芸を体験する。	陶芸家 安本 幸世
2	8月21日（土） 9：30～ 12：00	作品に絵付けをする。	陶芸家 安本 幸世

④講座を終えて コロナウイルス感染症のため、当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。出席者は、健康で、欠席者はいなかった。

講座1日目は、講師のデモンストレーションの後、思い思いの作品を仕上げた。配布された土で複数の作製した者がほとんどだった。中には、小学生より保護者の方が、力が入った組もあった。

講座2日目、作品を識別するために、各自、名前やマークを記入し、乾かしている間、「陶芸とは」というテーマでの講義を行った。
 その後、素焼きした作品に絵付けを行った。
 講師が、体験中、受講者ひとりひとりに積極的に声かけをしてくれたおかげで、うまく形を整え、絵付けをし、みな素晴らしい作品に仕上げることができた。
 アンケート結果を見ると、ほぼ「満足」と答え、自由意見欄にも、「楽しかった」「勉強になった」などの意見があり、事業としては、成功したと思う。

親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」

①開設趣旨 中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子どもたちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。

②募集対象 小学生と保護者 11組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月9日(月) 10:00~ 12:00	中央公民館1階ロビーの窓ガラスに、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 (アトリエティエラスールこども造形教室講師)

④講座を終えて 緊急事態宣言下で実施したため、キャンセルも多く出るかと思ったが、一組のみキャンセルとなり、アンケート結果を見ると、子どもだけでなく大人も楽しめるワークショップになったと思う。最初に先生が書き方などを指導したが、その後はめいめい自由にお絵かきを楽しみ、思い思いの水族館が完成した後は記念写真などを楽しんでいた。

ワークショップという形式をとり、先生が型にはめずに子どもたちの自由な感性を大事にした指導方法だったことが、成功した大きな要因になったと思う。

新型コロナウイルス感染防止対策として、参加者数、参加者年齢などを考慮し、窓スペースの指定を行った。会場は日が当たる場所だったので扇風機4台を回し、水分補給を促すことで熱中症対策を行った。また、使う材料、道具は各組用意し、使いまわすことのないようにした。

今後も感染対策をきちんと取りながら、大人と子どもが一緒になってアートを楽しむお絵かきワークショップを実施していきたいと考える。

2. 青少年教育事業

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和3年度は、下記「③プログラム」の分野にて講義を行っていただいた。
- ②募集対象 小学5年生以上と家族 20人または25人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（火） 13:30～ 15:30	牛乳パックDE紙すきうちわをつくろう 牛乳パックを原料に紙すきをして色とりどりのうちわを作って「紙のリサイクル」を学ぶ。	千葉県温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
2	8月6日（金） 10:00～ 11:30	天気を予想できるナゾ 天気予報の仕組みを分かりやすい解説で学ぶ。	銚子地方气象台 園田 麻帆
3	11月13日（土） 18:30～ 20:00	天体望遠鏡で星空観察 天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのか学ぶ。	天体観望会支援グループ「宇宙魅せ隊」代表代行 芳野 雅彦

- ④講座を終えて 毎年継続して開催しており、近年は宇宙をテーマにしている「子どもゼミナール」であるが、今年度より、子どもたちに幅広く科学について興味を持っていただければと、一つの分野だけでなく様々な科学に関する分野から講座を計画した。どの講座も、子どもたちもご家族の方々も興味深く受講をしていたようだった。牛乳パックで紙すきうちわを作るときは色紙を混ぜたが、参加者たちは色とりどりのうちわ作りを楽しんでいた。この講座では、同じようなやり方でカラフルな紙すきハガキも作ることができた。環境問題からその重要性がいわれている「リサイクル」だが、このようにエンタメとしても活用できることに感心している。天気予報についての講義も分かりやすく、銚子地方气象台の方々に簡単な模型を使って竜巻のできる様子などを実演していただき、当時放送されていたNHKの連続テレビ小説の題材も相まって、参加者の気象に関する理解がより深まったように思う。星空観察は、当初は8月下旬に予定をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の最中で緊急事態宣言が発令中だったことで、11月に延期をした。晩秋の夜空は鮮やかで、非常に良好な状態で木星や星団などを観察することができ、参加者たちも非常に満足をされたようであった。来年度以降も現在の路線を継続し、できれば新しい分野にも目を向けて開催できるようにしたいと考えている。

親子映画会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

四季の草木染めワークショップ

- ①開設趣旨 身の回りの草花野菜から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然染料によつ

て生み出す「布」作りを通して、「布」、ひいてはモノを大事にする心を養う。

②募集対象 小学4年生以上 各10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 1日（日） 9：00～ 12：00	お日様で染める柿渋染め	染織家 濱口 さえこ
2	10月10日（日） 9：00～ 12：00	身近な植物で染める草木染め（ビワの葉染め）	
3	12月 4日（土） 9：00～ 12：00	染め直しをたのしむ（栗のイガ染め）	
4	（動画収録日） 3月 5日（土） 13：00～ 16：00	藍染めを楽しむ～春を染める藍～ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、YouTube動画配信のみ実施 （令和4年4月27日配信）	和田はたおり保存会

④講座を終えて

実施回数が4回（4回目の3月開催分は新型コロナ感染拡大防止のため動画配信）だったので、春、夏、秋、冬の季節に分け、佐倉市の四季の植物を使って染め物ワークショップを実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、定員を10人としたので、毎回抽選となった。

参加者の皆さん全員が草木染めに興味がある方ばかりで、全ての作業に積極的に参加していただいた。先生に質問する参加者も多く、活発なワークショップになったと思う。草木染めをする過程で、参加者の皆さんがだんだん打ち解け、和気あいあいとした雰囲気になったのも、10人という少人数で開催した利点と考えられる。先生が横のつながり、仲間づくりの場となるようなワークショップにしたいとおっしゃっていたが、その点において非常に成功したものになったのではないかな。アンケート結果も非常に満足度の高いものとなった。今後も佐倉市の植物を使い、佐倉市の四季を感じてもらえる草木染めワークショップを行っていきたいと考えている。

手作りのしめ縄飾りを作ろう

①開設趣旨 日本には新年を迎えるための行事の一つとして、しめ縄飾りを作る習慣がある。しめ縄飾りは、作物の豊作や幸福を運んでくれる歳神様を迎えるための行事で、今回は玄関に飾れる「輪飾り」を作る。

日頃作ることがないしめ縄飾りを自分の手で作るにより、日本の伝統文化に対する理解や関心を持ってもらうことをねらいとしている。また、素材となるワラについては、地元生産者の協力を求めて、地域産業を知る機会にもする。

②募集対象 小学4年生から高校生とその保護者 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月26日（日） 9：30～12：00	基本的に1人1つの「輪飾り」を作る。家族単位の参加も可能とし、その場合は、親子で1つの飾りを作る。	市内ワラ生産者 藤崎 言行

- ④講座を終えて 当日は小学生6人、中学生2人が参加し、初めに職員による事業説明の後、講師の藤崎氏より青ワラとしめ縄飾りに関する講義を受ける。次に工作体験に移り、ワラぶち、しめ縄づくり、飾りつけの順序で作業を進めた。工作体験については初めての作業となるものが多く、全員が1つの工程を終了してから次の作業に移るように配慮し、参加者全員が完成までたどり着くことができた。アンケート調査結果では、全員が本講座を楽しんでおり、次回の講座参加を希望している。伝統行事を実感できる貴重な体験であり、子どもたち自身新たな発見があって、本講座の意義は高いものと思われる。なお、日本の伝統文化を知る講座を開いてほしいとの要望も出てきている。

佐倉っ子塾 佐倉おみやげ探検隊

- ①開設趣旨 小学校の授業の佐倉学は、豊かな自然や、佐倉で業績を残した先人について学習しているが、学校では学ぶことが少ない佐倉のお土産をテーマにする。今年度は、佐倉銘菓を取り上げ、銘菓と販売する老舗について学び、それぞれの誕生秘話を知る機会とする。

- ②募集対象 小学生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月13日（土） 10：00～ 11：30	銘菓と販売する老舗について学び、それぞれの誕生秘話を知る。	株式会社木村屋 会長 鶴澤 弓子

- ④講座を終えて コロナウイルス感染拡大防止のため、当日は、入館時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いした。健康で、欠席者はいなかった。参加児童が少なかつたため、急遽、保護者の方をお願いし、同行していただいた。（地域新聞の取材も入った）
講座は、会長の軽快な話術で、和やかな雰囲気が進んでいった。一通り銘菓や老舗について話が終わった後は、お店の裏にある蔵の中の家宝も見学した。
アンケート結果を見ると、「蔵六餅をよく知れてよかった」等の意見があり、蔵六餅は、昭和29年佐倉市誕生とともに発売されたこと、佐倉藩主・堀田家に伝わる家宝「蔵六石」にちなんだおめでたい亀甲模様になったことなど、理解してもらえたと思う。

3. 成人教育事業

佐倉学講座「佐倉・城下町 新町周辺歴史散策」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学講座 YouTube配信「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」

①開設趣旨 講師がフィールドワークによって得た知識と豊富な歴史的史料等から解説を行う講座であり、より深い佐倉の歴史を学ぶことができる。

毎年、貴重な史料を元に講義を行っていただいている。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	動画収録日（曜日）	学習内容	講師
1	3月16日（水）	講演「根郷地区の歴史に見る鎌倉・室町時代の様相」 （令和4年3月28日配信）	酒々井町文化財審議会会長 高橋 健一

④講座を終えて 当初は公開講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、千葉県がまん延防止等重点措置の対象地域となったため、動画配信による講座に切り替えた。

市民が講師の話を直に聞く形式は、昨年に引き続き叶わなかったが、この形にすることで、理解しづらかった点を繰り返し視聴するなど、自分のペースで受講ができることは利点ではないかと思う。

成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」

①開設趣旨 伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師に招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験をしていただくことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月19日（日） 10:00～ 12:00	「佐倉竹芸保存会」の概要説明とパワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験、「皮ひき」体験コーナーの設置、保存会メンバーの作品展示	佐倉竹芸保存会

④講座を終えて 開催当日は2人欠席で、1人が親子参加となったため、全員で29人。これに公民館運営審議会委員2人、他館の公民館職員1人が参加し、総計32人が講座を受講。保存会会長による会の概要説明に続き、副会長がパワーポイントを使って「竹」の特性について詳しく講義。その後、参加者を5～6人のグループに分けて、各グループに保存会のメンバー1人が付いて、「握り籠づくり」体験を行う。今回は身近な「竹」を素材にした伝統工芸に触れ、実際に工作体験をする講座としたが、アンケート結果から参加者の満足度は高い評価を得ることができ、また、伝統工芸に対する関心も高まり、自分で物づくりをしてみたいと考える者が大方を占めていることから

も、参加者自身の意識変化が認められ、適切な講座内容であったと考えられる。これは、コロナの影響による在宅時間の増加から、閉塞感と孤独感が高まり、日常生活に不安や不満も高まっていることと関連するものと思われる。

冬の寄せ植え体験講座

①開設趣旨 新型コロナウイルス感染症で、心身が疲れきっている中で、制作を通し、少しでも心に余裕と潤いを持つひと時とする。また、寄せ植えを習得し、きれいなまちづくりの一助とする。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月12日（日） 9：30～ 12：00	寄せ植えを体験する。	ハンギングバスケット協会 高橋 洋子

④講座を終えて コロナウイルス感染症のため、当日は、入室時に検温と、施設利用に関するチェック表の記入をお願いし、席の間隔を空けて実施した。出席者は、健康であったが、急遽、都合で材料の持ち帰りが1人あった。

講座は、座学から始まり、今日植える苗の特長や長持ちさせる方法・配置の仕方から、実際に体験を開始した。

受講生は、体験中、講師に積極的に質問をし、うまく形を整え、素晴らしい作品に仕上げることができた。また、講師の話術もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で講座を進めることができた。

アンケート結果を見ると、「満足」と答え、自由意見欄にも、「楽しかった」「知らないことばかりだった」などの意見があり、事業としては、成功したと思う。

千葉県文書館出前講座 房総の歴史講座「幕末・明治の西洋医と房総」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための4年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、4年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して4年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な4年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会(現在は超高齢社会)の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ(以下、市民カレッジという。)では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 新型コロナウイルス感染防止対策

令和2年より世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度は佐倉市民カレッジを休講とした。

今年度は、このウイルスへの対処法がある程度分かってきており、また、市民へのワクチン接種の目途が立ったことから、以下の感染拡大防止策を講じながら開講した。

- ・ 入学定員の減少(100人から80人に)
- ・ 風邪症状のあるときは欠席。来館時はマスク着用
- ・ 3密を避けながらの講義(例えば、1年生及び2年生の授業を人同士の間隔が十分に取れる大ホールで行う)
- ・ 講義中は窓やドアを開け換気を行う
- ・ 手指消毒及び使用後の教室の消毒の徹底
- ・ 感染防止等の事情のために来館できない生徒のため、期間を限定し、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で動画配信する。生徒は動画を視聴し、自己申告取得単位報告書を当館に提出することで単位を取得できるようにした。
- ・ 1日の授業時間を午前または午後の半日とする
- ・ 館内での水分補給以外の飲食禁止
- ・ 施設見学等の課外活動は極力控える
- ・ 令和4年1月21日から千葉県が「まん延防止等重点措置」の対象区域となったことを受けて、1月25日以降は生徒の登校を止め、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブ

サイト上で動画配信する形を取った

4. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：下記のとおり（先着順）

なお、令和3年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	40歳以上 80人	64人	62人

※令和3年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	31	62	31	57
	2 組	31		26	
第2学年	1 組	40	73	39	69
	2 組	33		30	
第3学年	福 祉	12	62	12	62
	歴 史	18		18	
	情 報	20		20	
	元 気	12		12	
第4学年	福 祉	21	75	21	74
	歴 史	19		19	
	情 報	16		16	
	元 気	19		18	
計			272		262

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約60日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任に

おいて行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、産業と農業、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。例えば、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では付せんを利用して意見集約する手法の体験等を実施している。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

① 「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

② 「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③ 「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成を、4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和3年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

令和3年度は前述のとおり、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、校外学習を極力控えている。

○校外学習

3 学年	5月25日	歴史	大佐倉の歴史散策
	6月22日	歴史	臼井の歴史散策
	9月28日	歴史	佐倉地区の歴史散策
	10月29日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	11月 2日	歴史	志津の歴史散策
4 学年	6月11日	歴史	新町の歴史散策
	6月25日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ

7. 令和3年度の主な行事

(1) 入学式・始業式

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式・始業式は、分散し学年ごとに行った。

入学式は5月13日(木)に行われ、62人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「佐倉市民カレッジの建学の精神は「為(な)すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他(た)に尽くす」こととさせていただきます。

皆様は佐倉市民カレッジ第二十九期生として、四年間、佐倉の歴史、自然、文化など郷土について学ぶほか、地域や社会の課題となっている分野についても、互いに助け合い、励まし合いながら学習に取り組んで頂きます。皆様におかれましては、健康に十分留意され、新たな仲間と過ごす日々を大切にしながら、自らの生活に潤いを感じ、地域の中でも活躍できる場を創造していただくことを切に願っております。」(抜粋)との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を宣言した。

始業式は5月11日(火)に3年生、翌12日(水)に2年生、その翌々日14日(金)に4年生について行われた。

(2) 展示・発表会

例年、11月上旬～中旬に4日間にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場としてグループ活動や展示活動が行われ、卒業生もグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)をして、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

しかしながら、令和2年より続くコロナ禍により、感染拡大防止のため、令和3年度は、生徒が集まって開催する形ではなく、佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で、あらかじめ録画をした生徒の絵画・書道・手工芸等の作品展示及び研究成果の発表を行うという形で、11月9日(火)から11月22日(月)にわたり行った。展示された作品及び研究発表は、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

(3) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和4年1月12日(水)に1・2年合同の学習形態で、また、1月19日(水)に西田三十五総長を迎えて、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「こども食堂」「チーム城跡めぐり28」「ウォーキングde さくら再発見」「佐倉里山支援28」「佐倉コミュニティバス旅28」「古道28」「この木何の木調べ隊」の7グループであった。

(4) 卒業式・修了式

入学式・始業式と同様に、当初は令和4年2月上旬に学年ごとに行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の急拡大により千葉県に「まん延防止等重点措置」が出され、生徒が集まった形での式典は中止となった。

代替として、1年生から3年生には、佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で、西田三十五総長の修了式辞の動画配信を行った。

また、卒業生には、3月25日(金)に、専攻コースごとに分かれて、卒業証書の授与及び職員で作成した「令和3年度市民カレッジ卒業式動画」の視聴を行った。

皆勤者9人を含む佐倉市民カレッジ第26期生74人が、今後の活躍を胸に秘めなが

ら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は、「令和3年度市民カレッジ卒業式動画」の中で、

「皆様は、新型コロナウイルス感染拡大による、休校期間を含め5年間、学習活動を継続してこられました。休校期間中には、改めて、自身の健康や家族との絆、そして、カレッジ生同士のコミュニケーションなど、日常のありがたさを痛感したのではないかと思います。

コロナ禍の試練を乗り越え、無事に学業を修了されましたことは、皆様の人生におかれましても、大きな意味を持つものと存じます。本日の喜びを、学友と分かち合い、また、カレッジ生活を、支えてくださったご家族にも、ぜひ、感謝の気持ちをお伝えいただきたいと思っております。

市民カレッジの建学の精神は、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。

佐倉市が将来にわたり持続可能なまちづくりを進めるためには、卒業生の皆様が学んでこられた知識や、お互いに高めてきた行動力や実践力が、大変、重要となっております。

今後とも、縁あって出会った、多くの仲間と共に、力を合わせ、日々、充実した思いを持ち、益々のご活躍をご期待いたしますとともに、卒業生の皆様方の、更なるご健勝とご多幸を祈念いたしまして、式辞といたします。」(抜粋)との言葉を述べた。

「令和3年度市民カレッジ卒業式動画」には、総長の式辞、在校生からの送辞、卒業生からの答辞、それから卒業生が市民カレッジで過ごした4年間を記録した写真及び動画が流され、卒業生は感慨深く視聴していたようだった。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（1）

日付		9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/13 (木)	入学式、カレッジ概要	
2	5/20 (木)	HR 避難訓練 自己紹介 (社会教育指導員)	
3	5/27 (木)	ウォークラリー (4年元気コース、社会教育指導員)	
4	6/3 (木)	佐倉の歴史概要 各地区の成り立ち (文化課)	
5	6/10 (木)	自治会の役割と市民協働 (自治人権推進課)	
6	6/17 (木)	人生は後半が面白い (「いきがい いばらき」代表 竹谷 輝男)	
7	6/24 (木)	水環境と人間生活 (元印旛沼環境基金上席研究員 本橋敬之助)	
8	7/1 (木) ※新型コロナ ウイルスのた め休講	地域の実践者に学ぶ(現地) : 1組	
		私のいきがい : 2組 (社会教育指導員)	
9	7/8 (木)	私のいきがい (社会教育指導員)	
10	7/15 (木)	佐倉市の地域福祉 (佐倉市社会福祉協議会)	
11	9/2 (木)	私のいきがい発表② (社会教育指導員)	
12	9/9 (木)	男女平等参画について (城西国際大学国際人文学部 国際文化学科 准教授 遠藤恵子)	
13	9/16 (木)	佐倉市立美術館 ミテ・ハナソウ体験	
14	9/30 (木)	佐倉市の文化・文化財行政 (文化課)	
15	10/7 (木)	佐原まちぐるみ博物館に学ぶ (佐原おかみさん会)	
16	10/14 (木)	楽しみながらできる健康づくり (順天堂大学名誉教授 武井正子)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
17	10/21 (木)	世代間交流動画づくり① (社会教育指導員)	
18	10/28 (木)	絆を引き継ぐ世代間交流 (東京都健康長寿医療センター 研究所研究員 高橋知也)	
19	11/4 (木)	世代間交流動画づくり② (社会教育指導員)	
20	11/11 (木)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
21	11/18 (木)	佐倉の農業 (農政課)	
22	11/25 (木)	世代間交流動画づくり③ (社会教育指導員)	
23	12/2 (木)	郷土の歌人 香取秀真の短歌に親しむ (斎藤茂吉記念館長 秋葉四郎)	
24	12/9 (木)	世代間交流④ (動画視聴)	
25	12/16 (木)	今年の国際情勢 (敬愛大学教授 敬愛大学総合地域研究所所長 水口章)	
26	12/23 (木)	佐倉市の観光・地域産業 (産業振興課)	
27	1/6 (木)	水の都・佐倉 (元千葉敬愛短期大学学長 酒々井町青樹堂名誉塾長 堀田和弘)	
28	1/12 (水) 【※水曜日】	2年生のまちづくり実践報告 (2年生、社会教育指導員)	
29	1/20 (木)	里山の生態 (東京情報大学客員教授 原慶太郎)	
30	1/27 (木)	房総ゆかりの作家波の伊八と葛飾北斎 (筑波大学名誉教授 齊藤泰嘉) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
31	2/3 (木)	高齢社会をどう生きるのか (聖徳大学教授 川口一美) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
32	2/10 (木)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/12 (水)	始業式・HR	
2	5/19 (水)	私たちのまちづくり① (社会教育指導員)	
3	5/26 (水)	まちづくり事例紹介	私たちのまちづくり② (社会教育指導員)
4	6/2 (水)	地域福祉とは (順天堂大学スポーツ健康科学部 前任准教授 松山毅)	
5	6/9 (水)	私たちのまちづくり③ (社会教育指導員)	
6	6/16 (水)	佐倉の鉄道史 (鉄道史研究家 白土貞夫)	
7	6/23 (水)	子ども的人権 (認定NPO法人児童虐待防止 全国ネットワーク理事 高祖常子)	
8	6/29 (火) 【※火曜日】	住民参加のまちづくり (千葉大学大学院准教授 森永良丙)	
9	7/7 (水)	私たちのまちづくり④ (社会教育指導員)	
10	7/14 (水)	佐倉の住みよさと住まいの終活 (千葉大学名誉教授 服部岑生)	
11	9/1 (水)	佐倉市神社の祭礼 (麻賀多神社宮司 宮本勇人)	
12	9/8 (水)	人工知能 コンピュータにできること (東京情報大学 准教授 マッキン・ケネスジェームス)	
13	9/16 (木) 【※木曜日】	社会生活とボランティア活動 (神奈川大学教授 齊藤ゆか)	
14	9/22 (水)	原始古代の佐倉 印旛沼周辺の人々 (印旛郡市文化財センター調査課 小倉和重)	
15	9/29 (水)	佐倉学について (佐倉市史編さん委員 内田儀久、 社会教育課)	
16	10/6 (水)	地域実践者から学ぶ (佐倉市民生委員・児童 委員協議会 会長 小林眞智子)	私たちのまちづくり⑤ (社会教育指導員)

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)	
17	10/14 (木) 【※木曜日】	/	こころサポーター（ゲートキーパー）養成 研修 聖マリアンナ医科大学神経精神科研究員 日本大学非常勤講師 田口学	
18	10/20 (水)	私たちのまちづくり⑥ (社会教育指導員)	/	
19	10/27 (水)	房総と文学 佐倉の文学風土 (元江戸川大学教授文芸評論家 鳥海宗一郎)		
20	11/10 (水)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】		
21	11/19 (金) 【※金曜日】	身近な法律知識 訴訟と人権 (弁護士 法政大学法科 大学院教授 高須順一)		
22	11/24 (水)	私たちのまちづくり⑦ (社会教育指導員)		
23	12/1 (水)	私たちのまちづくり⑧ (社会教育指導員)		4コース代表者説明 (4年コース代表、 社会教育指導員)
24	12/8 (水)	郷土史に関心を持つ契機となった 飯沼飛行士 (中央公民館 小暮達夫)		
25	12/15 (水)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方 (千葉工業大学名誉教授 瀧和夫)		
26	12/22 (水)	私たちのまちづくり⑨ (社会教育指導員)		
27	1/5 (水)	高齢者福祉の取り組みと認知症 (高齢者福祉課)		
28	1/12 (水)	まちづくり実践報告に向けて (1年生、社会教育指導員)		
29	1/19 (水)	まちづくり実践報告 (総長、館長、社会教育指導員)		
30	1/26 (水)	情報とリスク (東京情報大学名誉教授 成瀬敏郎) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応		
31	2/2 (水)	平成の佐倉市とカレッジ史 (佐倉市史編さん委員 内田儀久) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応		
32	2/9 (水)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応		

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	/
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員、 福祉コース卒業生 (第25期生))	
3	5/25 (火)	/	福祉サービスの基本 (社会福祉法人誠友会 理事長 竹内淳)
4	6/1 (火)		高齢者に多い疾患の基礎と予防・対処方法 (佐倉白翠園 看護長 後田恵子)
5	6/29 (火)	車椅子の種類、構造、介助方法 (高齢者福祉課)	/
6	7/6 (火)	障害者福祉制度の概要 (NPO法人千葉市視覚障害者協会 副理事長 高梨憲司)	
7	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	
8	9/7 (火)	介護保険制度の概要 (介護保険課)	
9	9/14 (火)	笑いヨガと自力整体 (自力整体ナビゲーター 秋田美智子)	
10	9/21 (火)	高齢期の栄養と食生活の在り方 (健康推進課) [3年福祉元気合同]	
11	10/5 (火)	聴く技術 (東京メンタルヘルスチーフカウンセラー 淵上規后子)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/12 (火)	生活習慣病予防 (健康運動指導士 加藤未来) ※6月16日の講義がこの日に変更になりました	
13	10/19 (火)	介護技術の基礎① (佐倉白翠園 施設長 安宅香織 介護主任 中村大輪)	
14	10/26 (火)		地域包括支援センターについて (佐倉市南部地域包括支援センター)
15	11/2 (火)	子育て支援の現状と課題 (千葉敬愛短期大学教授 吉村真理子)	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)	移乗動作と歩行介助 (高齢者福祉課)	
18	11/30 (火)	聴覚障害を理解する (障害福祉課)	
19	12/7 (火)	介護技術の基礎② (佐倉白翠園 ユニット型介護長 玉木伸和)	
20	12/21 (火)		
21	1/11 (火)		嘔む喜びと食べることの意義 〔3年福祉3年元気合同〕 (歯学博士 鳩貝尚志)
			子どもの貧困について (千葉県スクールソーシャルワーカー 飯野弥生)
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員)	
3	5/25 (火)	大佐倉の歴史散策 (まちづくり支援ネットワーク佐倉)	
4	6/15 (火)		中世佐倉の道 (市文化財審議委員 遠山成一)
5	6/22 (火)	白井の歴史散策 (文化財ボランティアガイド佐倉 滑川洋子)	
6	7/6 (火)		佐藤泰然と佐倉順天堂 (文化課)
7	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	
8	8/31 (火)	佐倉藩土と沼津兵学校 (国立歴史民俗博物館教授 樋口雄彦)	
9	9/7 (火)		本佐倉城跡と白井城跡の発掘成果と 東国の戦国時代 (国立歴史民俗博物館名誉教授 小野正敏)
10	9/21 (火)	佐倉城下町の祭礼文化について (祭礼文化研究家 鶴岡勝人)	
11	9/28 (火)	佐倉地区の歴史散策 (中央公民館 小暮達夫)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/19 (火)	浅井忠と佐倉ゆかりの芸術家 (佐倉市立美術館)	
13	10/26 (火)	佐倉牧 (市文化財審議委員 立教大学 兼任講師 國學院大學兼任講師 高見澤美紀)	
14	10/29 (金) 【※金曜日】	成田山の歴史を学ぶ (成田市文化財審議委員会 委員長 小倉博)	(課外) 成田山の歴史を学ぶ (希望者向け見学コースあり)
15	11/2 (火)	志津の歴史散策 (NPO法人佐倉一里塚) 現地	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)		古今佐倉真佐子について (佐倉市史編さん委員 外山信司)
18	12/7 (火)	佐倉の歴史的建築物 (市文化財審議委員、国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士)	
19	12/14 (火)	中世佐倉の鹿島郷 (酒々井町文化財審議会会長 高橋健一)	
20	1/11 (火)	津田仙 近代農業のさきがけ (津田仙の曾孫 津田道夫)	
21	1/18 (火)	カレッジ生が取り組みたい研究テーマ (各自発表) (市史編さん委員 内田儀久)	
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員)	
3	5/25 (火)	情報発信するときに心がけること (合同会社環賢堂代表社員 玉木 勝)	
4	6/8 (火)	スマホの活用 (ドコモショップ佐倉志津店 営業企画担当 主任 鈴木義和)	情報発信① (社会教育指導員)
5	6/15 (火)		
6	6/22 (火)	ワード① (カレッジ情報コース22期卒業生)	ワード② (カレッジ情報コース22期卒業生)
7	7/6 (火)		
8	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	情報発信② (社会教育指導員)
9	9/7 (火)		
10	9/21 (火)		ZOOM体験 (社会教育指導員)
11	9/28 (火)	おカネとITの経営戦略 (東京情報大学准教授 樋口大輔)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/12 (火)	電子マネー (ドコモショップ佐倉志津店 営業企画担当 主任 鈴木義和 担当講師 石渡康英)	
13	10/19 (火)		インターネットウイルスの歴史 (東京情報大学准教授 岸本頼紀)
14	10/26 (火)	インターネット活用術 (株式会社 教育システム 本間達哉)	
15	11/2 (火)	情報発信③ (社会教育指導員)	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)		ワード③ (カレッジ情報コース22期卒業生)
18	12/7 (火)	情報発信④ (社会教育指導員)	
19	12/14 (火)		情報化社会と著作権 (一社)コンピュータソフトウェア著作権協会 専務理事 久保田裕)
20	1/11 (火)	ワード④ (カレッジ情報コース22期卒業生)	
21	1/18 (火)	情報発信⑤ (社会教育指導員)	
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/11 (火)	始業式・HR	
2	5/18 (火)	HR (社会教育指導員)	
3	5/25 (火)		ウォークラリーコースをつくろう① (社会教育指導員)
4	6/1 (火)	熱中症予防と水分補給 (NPOニッポンランナーズ ランニングコーチ 中田修弘)	
5	6/15 (火)		ウォークラリーコースをつくろう② (社会教育指導員)
6	6/29 (火)	チームワークを考える (順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科教授 水野基樹)	
7	7/6 (火)		高齢期の健康法 (順天堂大学名誉教授 武井正子)
8	7/13 (火)	過去の災害から学ぶ防災対策 (防災コミュニティネットワーク 代表 青木信夫) [4コース合同]	
9	9/7 (火)	薬と生活習慣 ((株)健栄)	
10	9/14 (火)	太極拳静かな動きを体験しよう (佐倉太極拳同好会 嶋田桂子 服部陽子)	
11	9/21 (火)	高齢期の栄養と食生活の在り方 (健康推進課) [3年福祉元気合同]	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
12	10/5 (火)	ウォークラリーコースをつくろう③ (社会教育指導員) 現地	
13	10/19 (火)	ウォークラリーコースをつくろう④まとめ (社会教育指導員)	
14	10/26 (火)		ウォークラリーコースをつくろう⑤実践 (社会教育指導員)
15	11/5 (金) 【※金曜日】	体組成測定と健康づくり (健康推進課) 〔3年元気4年元気合同〕	
16	11/9 (火)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/16 (火)	生活習慣病と健康 (日本ウェルネススポーツ大学教授 鈴木勝彦)	
18	11/30 (火)	歓迎ウォークラリーに向けて① (社会教育指導員)	
19	12/7 (火)	歓迎ウォークラリーに向けて② (社会教育指導員)	
20	12/21 (火)		
21	1/11 (火)	ヨガ ゆったりとリフレッシュしよう (インストラクター 岡本美鈴)	嘔む喜びと食べることの意義 (歯学博士 鳩貝尚志) 〔3年福祉3年元気合同〕
22	2/8 (火)	修了式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
3	5/28 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
4	6/4 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
5	6/18 (金)	ボランティア活動の心構え (佐倉白翠園施設長 安宅香織)	
6	6/25 (金)	発達障害を理解する (成田市教育相談員 塩田邦子)	
7	7/2 (金)	元気なうちから始める介護予防 (高齢者福祉課)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
10	9/3 (金)	自主企画講座 (社会教育指導員)	
11	9/17 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年福祉元気合同〕	
12	9/24 (金)	学び合い④ (社会教育指導員)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/8 (金)	情報コースによる 学び合い	歴史コースによる 学び合い
14	10/15 (金)	情報コースを 招待して	歴史コースを 招待して
15	10/22 (金)	元気コースによる 学び合い	元気コースを 招待して
16	11/5 (金)	こころに触れる生かすカウンセリング (東京メンタルヘルスチーフカウンセラー 淵上規后子)	
17	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
18	12/3 (金)	傾聴心得 (学校カウンセラー・スーパーバイザー 根本栄治)	
19	12/17 (金)	心と身体を守るための感情コントロール (日本アンガーマネジメント協会 山岸和子) 〔4年福祉元気合同〕	
20	1/7 (金)	福祉活動の実践に向けて ／卒業に向けて (社会教育指導員)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)	
1	5/14 (金)	始業式・HR	(課外) 佐原のまちづくりを学ぶ (希望者向け見学コースあり)	
2	5/21 (金)	学び合い① (社会教育指導員)		
3	5/28 (金)	自主企画① (社会教育指導員)		
4	6/11 (金)	新町の歴史散策 (酒々井町文化財審議会会長 高橋健一)		
5	6/18 (金)	近世佐倉の道 成田道 (八千代市郷土歴史研究会 村田一男)		
6	6/25 (金)	佐原のまちづくりを学ぶ (NPO法人小野川と佐原の 町並みを考える会)		
7	7/2 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	(課外) 佐原のまちづくりを学ぶ (希望者向け見学コースあり)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕		
9	7/16 (金)	幕末明治に海を渡った佐倉人 (市史編さん委員 内田儀久)		
10	9/10 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年歴史情報合同〕		
11	9/24 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)		
12	10/8 (金)	元気コースを 招待して		福祉コースを 招待して

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/15 (金)	元気コースによる 学び合い	福祉コースによる 学び合い
14	10/22 (金)	情報コースによる 学び合い	情報コースを 招待して
15	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
16	11/26 (金)	堀田正倫と地域関わり (中央大学文学部人文社会学科 宮間純一)	
17	12/3 (金)	自主企画講座 (社会教育指導員)	
18	12/10 (金)	佐倉炭 (千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人)	
19	12/17 (金)	歴博を楽しむ (国立歴史民俗博物館館長 西谷大)	
20	1/14 (金)	研究論文の発表 (元社会教育指導員 内田儀久)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
3	5/28 (金)	映像作品ができるまで (広域高速ネット296放送制作部係長 平川裕)	
4	6/11 (金)	情報化時代における消費者トラブル (消費生活センター)	
5	6/18 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
6	6/25 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
7	7/2 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	学び合い④ (社会教育指導員)	
10	9/10 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年歴史情報合同〕	
11	9/24 (金)	学び合い⑤ (社会教育指導員)	
12	10/8 (金)	福祉コースを 招待して	元気コースを 招待して

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

	日付	9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/15 (金)	福祉コースによる 学び合い	元気コースによる 学び合い
14	10/22 (金)	歴史コースを 招待して	歴史コースによる 学び合い
15	11/5 (金)	自主企画講座（社会教育指導員）	
16	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
17	11/26 (金)	エクセル① (カレッジ情報コース22期卒業生)	
18	12/10 (金)	エクセル② (カレッジ情報コース22期卒業生)	
19	12/17 (金)	報道の現場から (元日本テレビ放送網報道局 町田博祐)	
20	1/14 (金)	情報コース活動の振り返り ／卒業に向けて（社会教育指導員）	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発（社会福祉協議会会長） ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

	日付	9：45～10：00 (HR) 10：00～11：45 (授業)	13：10～13：15 (HR) 13：25～15：10 (授業)
1	5/14 (金)	始業式・HR	
2	5/21 (金)	ウォークラリーに向けて (社会教育指導員)	
3	5/27 (木) 【※木曜日】	ウォークラリー (1年、4年元気、社会教育指導員)	
4	6/4 (金)	ターゲットバードゴルフ (佐倉市ターゲットバードゴルフ協会 伊藤國彦)	
5	6/18 (金)	学び合い① (社会教育指導員)	
6	6/25 (金)	自主企画① (社会教育指導員)	
7	7/2 (金)	学び合い② (社会教育指導員)	
8	7/9 (金)	文章作成の技術 (エッセイスト 高比良直美) 〔4コース合同〕	
9	7/16 (金)	自力整体と笑いヨガ (自力整体インストラクター 秋田美智子)	
10	9/3 (金)	学び合い③ (社会教育指導員)	
11	9/17 (金)	草ぶえの丘で陶芸を楽しむ (社会教育指導員) 〔4年福祉元気合同〕	
12	9/24 (金)	学び合い④ (社会教育指導員)	

令和3年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

日付		9:45~10:00 (HR) 10:00~11:45 (授業)	13:10~13:15 (HR) 13:25~15:10 (授業)
13	10/8 (金)	歴史コースによる 学び合い	情報コースによる 学び合い
14	10/15 (金)	歴史コースを 招待して	情報コースを 招待して
15	10/22 (金)	福祉コースを 招待して	福祉コースによる 学び合い
16	11/5 (金)	体組成測定と健康づくり (健康推進課) 〔3年元気4年元気合同〕	
17	11/12 (金)	展示・研究発表 【ウェブによる開催のみに】	
18	12/3 (金)	自主企画講座 (社会教育指導員)	
19	12/17 (金)	心と身体を守るための感情コントロール (日本アンガーマネジメント協会 山岸和子) 〔4年福祉元気合同〕	
20	1/7 (金)	卒業後の健康づくり／卒業に向けて (社会教育指導員)	
21	1/21 (金)	各コースの代表発表	
22	1/28 (金)	新たな出発 (社会福祉協議会会長) ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	
23	2/4 (金)	卒業式 ※新型コロナウイルスのため動画配信対応	

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

6. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・『なかま』『佐倉市民カレッジ情報紙「カレッジ・インフォメーション」』等、中央公民館発行の広報紙
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
 - ・新型コロナウイルスの感染状況に関する情報
 - ・新型コロナウイルス感染防止のための利用案内及び開館状況に関する情報
- ④展望 市の広報紙を見る機会のない方にも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響による開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった人たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や閉館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック
- ツイッターアカウント名：@sakura_chuokou
- フェイスブック：
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト（ツイッターでは140字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
 - ・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者は年々減少している。その原因として、これまで公

民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないことが考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった人に情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設する。そのことによりリモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q/featured

③実施内容 ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）

- ・職員が作成した生涯学習動画
- ・公民館活動団体と協力して作成した動画
- ・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
- ・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 本年度は、過去に行った講座の様子を撮影した動画や、コロナ禍により中止になった対面講座の代替としての講座の動画も作成が行われた。

動画という形に残ることで、都合により来館できない方も学ぶことができ、また、視聴者は繰り返し視聴して講座内容への理解を深めることができるという動画配信ならではの利点に改めて気づかされる。

今後も、多彩な公民館事業の動画により、視聴者に教養を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただけたら幸いである。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

親子映画会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

視聴覚機器貸出

- ①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。
- ②対象
- ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
 - ・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 - ・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
 - ・官公署
 - ・その他教育委員会が必要と認める団体
- ③貸出機器
- 機材
 - ・プロジェクター
 - ・スクリーン
 - ・DVDプレーヤー
 - ・移動音響セット
 - ・スピーカー ほか
 - 教材
 - ・DVD
 - ・ビデオテープ ほか
- ④展望 機材の修繕を適切に行いつつ、市民のニーズに沿い、かつ、市民の教養を深める教材の購入を進めていく。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4平方キロ、人口は約1%に当たる1,671人、世帯数は748世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 和田地区：面積 約14.4㎢ （佐倉市：面積 103.69㎢）
- 和田地区：住基人口 1,671人 （佐倉市：住基人口 171,747人）
- 和田地区：人口密度 116人/㎢ （佐倉市：人口密度 1,656人/㎢）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部利用制限付き開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、地域社会教育活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染防止拡大に努める。
- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした社会教育内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)
- (2) 休館日 第2第4月曜日、12/28～1/4は休館

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	627	613	491	89	173
利用人数 (人)	7,345	6,875	6,451	591	1,465
開館日数 (日)	333	333	307	230	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応
令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・閉館時間を 20 時までに短縮

令和 3 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	3,028	57	1.9%
調理実習室	3,028	100	3.3%
団体室	3,032	42	1.4%
会議室	3,032	252	8.6%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応
令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・閉館時間を 20 時までに短縮

※調理実習室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和 3 年 11 月 15 日から利用再開（館内飲食不可）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者	8月～12月 5回 12月 1回	幼児期における重要な学習機会、遊びや育児の環境の場を提供するなかで、子育てに役立つ情報等も発信していく。また地区子育て支援サークルとの共催を図ることで仲間づくり、コミュニケーションを深める機会とする。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため教室は中止。ただし、和田地区在住（1歳から4歳）幼児のいる家庭向けにクリスマスと新年に向けて、時節の手紙を送付した。
	楽しく家庭教育講座	地区内の幼児及び小学生の保護者	前期・後期 各1回	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
青少年教育	和田剣道教室	地域の小学生等 20人	5月～3月 40回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行う事が出来た。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10月中旬 1回	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休み子どもゼミナール	小学校5.6年生 15人	11/13 25人	中央公民館との共催事業であり、天体分野の専門講師により、和田ふるさと館においてゼミ、星空観察を実施した。感染症に配慮し、開催日程を変更した。
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	12/16 23人	芸術鑑賞等の様々な機会を通して、心の成長を促し文化芸術の素晴らしさ・楽しさを知ってもらおう意図で実施。佐倉ゆうゆう塾講師から季節に合う話を、一緒に身体を動かしながら楽しく聴くことができた。コロナ禍において行事が少ないため、保護者からも喜ばれた。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	10月～2月 3回	和田地区青少年育成住民会議と連携して、地区の小学生向けに、地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	1年 2回	創造力をはぐくむ講座。（手工芸、凧作りなど、身近で親しみやすい伝統文化の体験学習を予定）
成人教育	和田市民大学 佐倉学講座 地域学	市内の成人 10人	8/28 12人 9/25 10人 10/23 9人 10/30 12人 1/15 11人	<ul style="list-style-type: none"> ・8月は地元公民館運営審議会委員による「縄文・弥生期の出土品」の講義を実施した。 ・9月は地区で有機栽培や地域づくりを実践している団体に、その取り組みや今後の抱負を語ってもらった。 ・10月は弥富公民館、文化課、宝金剛寺と協力し合い、歴史講座・展示を実施した。23日は弥富公民館において「近世の玉縄北条氏」、30日は和田ふるさと館において「北条氏勝と宝金剛寺」と題し、専門家に講演頂いた。 ・1月は市及び地区における地層の状況を明らかにし、それと関連する湧水について専門家により講義頂いた。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容	
和 田 市 民 大 学	手芸教室	60歳以上の地区の 成人 10人	5/7 4人 6/4 6人 7/2 6人 9/3 6人 10/1 6人 11/5 7人 12/3 7人 1/7 中止	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図ることを目的として開催した。また8月に受講生により、再利用を通じて物を大切にする心を子どもたちに指導する教室を予定していたが、感染症拡大予防のため中止。	
	和田工芸講座	市内の成人 10人	6/23 14人 7/21 13人 8/25 13人 12/19 中止 2/6 中止	・地元陶芸家を講師として6月～8月にて陶芸作品づくりを連続で行った。 ・12/19しめ飾り講習会は感染症の影響を考慮し中止。 ・2/6ストラップミニ草履教室も感染症の影響を考慮し中止。	
	地区交流会	地区の成人 40人程度	3月 中止	地区の高齢者をはじめ多様な世代が、地域交流を図る事を趣旨としてバス見学会を実施する。感染症の影響により中止。	
成 人 教 育	和田地区防災講習会	地区の成人 30人程度	1/30	市・危機管理室より、防災に係る講話を行う。	
	合同研修会	地区内の住民団体	11/28 30人	11月企画展に応じる形で、縄文弥生期における地区遺跡の紹介・解説を行った。	
団 体 育 成	団体育成事業	和田小PTA民俗資料 収集委員会・和田はた おり保存会・和田地区 青少年育成住民会議等	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が円滑に活動できるよう、協力支援する。	
広 報 展 示 活 動	公民館だより発行		年刊発行 ・10月	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(700部)	
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示
			企画	11月～12月	昨年度に引き続き開館20周年として、「縄文弥生期の地域」企画展を11月～12月に、和田文化工芸展と共に開催した。
		見学	市内小学校・ 一般団体等	通年	市内小学校社会科見学の際に解説を行った。
図 書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。	

1. 家庭教育事業

子育て教室

- ①開設趣旨 親子でのふれあいや楽しい遊び、講師からの指導を通して親の役割、環境づくりなどの意義を考え、育児知識習得の機会を設けること。また、他の参加者との交流により、育児不安や悩みの共有・相談をすることで孤独感の解消や、子育てで忙しい日々の生活の中の憩いの時間、仲間づくりの場となるよう配慮する。
- ②募集対象 2.3歳児と保護者
- ③プログラム 8月～12月 5回
- ④講座を終えて 少子化の中、和田地区社会福祉協議会内の子育て支援団体と共に手を携え、協力しながら子育て中の親を心身ともに支える時間や場の提供をすることを目的に講座を計画、開催する予定であったが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため講座計画・実行を見送った。12月に支援団体と共に地域の就学前児童のいる家庭にクリスマスと新年のあいさつ状を送り、今後につなげることとした。

楽しく家庭教育講座

- ①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
- ②募集対象 地区内の幼児及び小学生の保護者等
- ③プログラム 前期・後期各1回
- ④講座を終えて 幼・小和田家庭教育学級と共催で年2回実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地域の小学生等 20人
- ③開設期間 令和3年5月～令和4年3月 40回
- ④指導者 片岡 康平、藤崎 英樹、江野澤 清美、鶴田 潤子、高山 裕司
- ⑤講座を終えて 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム 10月中旬
- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子供と地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々に講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 市内の小学5・6年生 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月13日（土） 19:00～20:30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 感染症拡大防止のため、時期・参加人数に配慮した。中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立て新鮮な感動を与える事が出来た。保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まり、印象に残る一日となったと感じている。

子ども芸術鑑賞会

- ①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。
- ②募集対象 地区の小学生
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月16日（木） 15:00～15:45	クリスマスお話し会	佐倉ゆうゆう塾 主宰 末吉 正子

- ④講座を終えて 和田公民館において、「ゆうゆう塾」のお話し会は例年実施している。今年度も、時期、参加人数、場所等に配慮し開催した。参加児童も楽しい時間を過ごす事が出来たと感じた。

佐倉っ子塾 料理教室

- ①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。
- ②募集対象 地区の小学生 各回20人
- ③プログラム 10月～2月 3回
- ④講座を終えて この事業は子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学び、男子児童が一人であっても意欲的に自ら申し込みしてくる事業であることから、毎年、地元協力者の方も力を入れて指導してくださっているが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- ①開設趣旨 手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ②募集対象

- ・夏休み編み物体験 地区の小学生 15人
- ・凧づくり体験 地区の小学生 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月中	夏休み編み物体験	和田市民大学手芸教室講師 手芸教室生徒
2	12月中	凧づくり体験 (六角凧)	和田地区青少年育成住民会議 和田地区青少年相談員 和田子ども会

- ④講座を終えて 「夏休み編み物体験」は、和田市民大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより世代間交流をするとともに、子どもたちが、一つの作品を作り出す喜びを味わうことができる機会であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

「凧づくり体験」は、ふるさと館にて、和田子ども会、和田青少年相談員の共催で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

3. 成人教育事業

佐倉学講座 楽しく学べる和田地域学

- ①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
- ②募集対象 市内の成人 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月28日(土) 9:30~11:30	オリエンテーション 縄文・弥生期の出土品	佐倉市公民館運営審議会 委員 藤崎 言行
2	9月25日(土) 9:30~11:30	有機農業と地域づくり	地球のしごと大賞 萩谷 祐介
3	10月23日(土) 14:00~16:00	近世の玉縄北条氏	佐倉市文化財審議員 外山 信司
4	10月30日(土) 14:00~16:00	北条氏勝と宝金剛寺	佐倉市文化財審議員 外山 信司
5	1月15日(土) 9:30~11:30	地域の地層・湧水	水環境研究所副理事長 岩井 久美子

- ④講座を終えて コロナ対応を図りながら、和田地区の歴史、自然、まちづくりに係る学習講座を実施した。特に3、4回目は弥富公民館と共催で、文化課や地元名刹である宝金剛寺と協力し歴史講演会として開催、その中の講座の位置付けで実施した事で、多くの参加者と共に、受講者の学びの意欲を向上させる事が出来たものと捉えている。

和田市民大学手芸教室

- ①開設趣旨 手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいづくりを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。
- ②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人
- ③実施期間 令和3年5月7日~令和3年12月3日 7回
- ④講座を終えて コロナ対応のため午前中だけの短時間で開講したこともあり、受講生は集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。5月から3月まで11回の開講予定であったが7回実施した。

和田市民大学和田工芸講座

- ①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織り、わら工芸などを地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。
工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。
- ②募集対象 市内成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月23日（水） 9：30～11：30	陶芸①「成形」	地元陶芸家 安本 幸世
2	7月21日（水） 9：30～11：30	陶芸②「削りと高台付け」	地元陶芸家 安本 幸世
3	8月25日（水） 9：30～11：30	陶芸③「施釉」	地元陶芸家 安本 幸世

④講座を終えて 「陶芸講座」については、新型コロナウイルス感染症拡大対策を図りながら、地元陶芸家の指導の下、連続3回講座として実施し今年度も親切・丁寧な指導のおかげでより良い作品づくりが出来た。作品は11月～12月の和田文化工芸展において展示した。

和田市民大学地区交流会

- ①開設趣旨 心身ともに健康で生がいのある生活を保ち、世代間の交流を図る。
- ②募集対象 地区の成人（子・孫の参加可） 40人程度
- ③プログラム 3月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

和田地区防災講習会

- ①開設趣旨 地域づくり活動として現場で役立つ防災や防犯についての実践的な講習、訓練等を行う。
- ②募集対象 地区の成人 30人程度
- ③プログラム 1月
- ④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

合同研修会

- ①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。
- ②募集対象 地区住民団体 30人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月28日（日） 9：30～11：30	縄文・弥生期の地域	佐倉市公民館運営審議会 委員 藤崎 言行

④講座を終えて 和田ふるさと館ホールにて、地区住民の方々を対象に講義をお願いした。同名の企画展示コーナーの見学も合わせて行い、学習内容の理解が深まったものと感じた。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年1回（10月号）
- 発行部数 700部
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。昨年度に引き続き開館20周年記念として、11月～12月に和田文化工芸展と併せて「縄文弥生期の地域」展を行った。
- 期間・回数 開館日数 333日 来館者数 633人

6. 図書事業

図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	5	5	10	7	13	11	6	7	14	8	24	30	140
返却数	32	70	10	5	39	10	12	6	14	30	10	25	263

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群であり、佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して697世帯、1,465人が住み、約13.3km²の面積を持つ穏やかな田園地帯となっている。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けており、弥富地区のほぼ全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加が見込み難い現状にある。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館、さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつある。

弥富地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 弥富地区：面積 約13.3km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 弥富地区：住基人口 1,465人 （佐倉市：住基人口 171,747人）
- 弥富地区：人口密度 110人/km² （佐倉市：人口密度 1,656人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

- 開館時間 ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時
- ②火～土曜日 午前9時～午後9時
- ※夜間の利用申込が無い場合は、午後5時で閉館

- 休館日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	1,326	1,290	981	290	481
利用人数 (人)	10,355	13,854	10,603	3,586	3,849
開館日数 (日)	333	333	309	230	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・閉館時間を午後 8 時までに短縮

令和 3 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	3,603	662	18.4%
中会議室	3,603	448	12.4%
調理実習室	1,316	97	7.4%
和室	3,603	158	4.4%

※調理実習室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、令和 3 年 11 月 15 日から利用再開（館内飲食不可）

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室 「デジタル時代の子育てを一緒にアップデートしませんか？」	成人 54人	2/19 1回 20人	スマートフォンやタブレットなどの普及に伴い、デジタルメディアを子どもが家庭で使用する際に、子育て・孫育て世代がどのようなポイントを押さえ、教育の観点から活用できるかを学習した。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	5月～3月 31回 8人	剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛錬し、千葉県指定無形文化財「立身流」をも学んだ。
	星空観察会	小学生と 保護者 12組	11/6 9組	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育んだ。
	佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾	弥富小学校 児童 10～20人	7/29 6人 8/18～19 5人 12/18 7人 1/8 10人	様々な体験を通じて子供たちの創造性や協調性、豊かな心を育んだ。 7/29「やとみ絵画教室」 8/18～19「クラフトバンドでつくる塩古ざるづくり」 12/18「たこ作り大作戦！Inなんでも体験弥富塾」 1/8「おもちゃで成木をつくろう」
成人教育	グラウンドゴルフ大会	弥富地区の 住民 40人	6/26 37人	児童から高齢者まで一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、地区住民の健康増進と世代間の交流を図った。
	地域防災講座	弥富地区の 住民 40人	11月～12月 2回	地域の防災力向上を目指して実践的な講習、訓練等を行う。
	「くらしの講座」 布ぞうりづくり	市内の成人 5人	3月 1回	弥富地区で継承されてきたぞうりづくりの技法を次代に伝えるとともに、世代間を越えた交流を図る。また、地域人材の活用・育成を図る。
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」	市内の成人 12～24人	6/24 28人 10/23 35人 12/16 13人	地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高めた。 6/24「弥富の伝説」 10/23講演「近世の玉縄北条氏ー北条氏勝・氏重について」（宝金剛寺・文化課・和田公民館と共催） 12/16「弥富文化財収蔵庫見学会」 6/24はオンライン（ZOOM）配信も実施した。
	佐倉学入門講座 「弥富野草散策観察会」	市内の成人 10人	5/14 9人 3/28	弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して郷土を学ぶ機会とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学体験講座 「クラフトバンドで 塩古ざるづくり」	市内の成人 8人	3月	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝 わるざる作りを次世代に継承するた めの入り口として、簡易な材料を使 用して編み上げ技法を学ぶととも に、地域人材の活用・育成を図る。
	佐倉学体験講座 「竹炭づくり体験」	市内の成人 10人	11/25～26 10人	昔より伝わる竹炭づくりの技法を体 験することにより、弥富地区の自然 と伝統について理解を深めた。
団体育成	地域団体支援	弥富地区の 住民	通年	ふるさと弥富を愛する会・弥富地区 社会福祉協議会・青少年相談員・弥 富地区青少年育成住民会議の活動に 対する協力・支援を行った。
広報活動	公民館だより	弥富地区 全世帯	5/ 7 700部 11/ 8 700部 1/11 700部	公民館事業の案内、募集、施設利用 等の情報提供を行った。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館の協力により図書 コーナーを充実させ、図書の貸出・ 返却を行った。

1. 家庭教育事業

子育て教室

①開設趣旨 子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を学習する。

②募集対象 成人 54人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月19日（土） 14:00～15:00	「デジタル時代の子育てを一緒にアップデートしませんか？」	愛知淑徳大学 人間情報学部教授 佐藤 朝美

④講座を終えて 当初、愛知淑徳大学と弥富公民館をオンラインで結ぶことにより、弥富公民館をサテライト会場とするとともに、自宅等でもZoomミーティングを利用して受講できるように設定していた。しかし、実施日が新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置期間中であったため、会場に集まるサテライト会場でのビューイングは中止とし、Zoomミーティングでのオンライン受講のみとした。

また、当日は時間的に参加できない希望者のために、参加申込者限定でのYouTube配信を1週間行った。

参加者からは子どもにスマートフォンやタブレットなどで動画を見せることに罪悪感を持ったり、自分が子どもの時代には無いツールを使用することに対する不安を感じていたりするなどの意見が多かった。今回の講座は、考え方もめまぐるしく変わっていくテーマであるため、依存することでも、忌避することでもなく、デジタルメディアとバランスよく付き合う今日的方法を学ぶことができた。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 弥富剣道教室

①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象 小学生 20人

③期間・回数 令和3年5月～令和4年3月 31回

④学習内容 剣道の技術習得と立身流の基礎の学習

⑤指導者 檜村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順

⑥講座を終えて 千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の技と精神を学ぶとともに、剣道の稽古に励み、子どもたちの心と体を鍛えることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まん延防止等重点措置が発出されている期間については事業を中止し、再開の際には全日本剣道連盟が公表した「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を基に「弥富剣道教室対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を遵守したうえで、事業を実施した。

星空観察会

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで天体・科学への興味を育む。

②募集対象 小学生と保護者 12組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 6日（土） 17:30～19:30	秋の星空観察会	染井野星の会

④講座を終えて 土星・木星に焦点を当てた望遠鏡での観察及び肉眼での星座の観察を行った。天候に恵まれ、土星の環や木星の縞・衛星などを観察し、天体と星空の美しさと宇宙の広がり親子で体感することができた。

佐倉っ子塾 なんでも体験弥富塾

①開設趣旨 様々な体験を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。

②募集対象 弥富小学校児童 10～20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月29日（木） 9:30～12:00	やとみ絵画教室	村上 忠
2	8月18日（水） 8月19日（木） 13:00～16:30	クラフトバンドでつくる塩古ざるづくり	ふるさと弥富を愛する会 ほか
3	12月18日（土） 9:30～12:00	たこ作り大作戦！ Inなんでも体験弥富塾	佐倉市青少年相談員
4	1月 8日（土） 9:30～12:00	おもちゃで成木をつくろう	公民館職員

④講座を終えて 今までのなんでも体験弥富塾は、年間の連続講座として行っていたが、講座内容により参加率の増減が激しいため、今年度から各講座で募集を行うこととした。絵画や工作、伝統行事など様々なプログラムを通じて子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。

3. 成人教育事業

グラウンドゴルフ大会

- ①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。
- ②募集対象 弥富地区の住民
- ③実施日・回数 令和3年 6月26日(土) 13:30~16:00 1回
- ④学習内容 グラウンドゴルフ
- ⑤講座を終えて 多くの高齢者に参加してもらうため地域団体との共催とした。プレーにあたってマスクの着用や消毒など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しつつ、楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流を図った。プレー途中で会場となった弥富小学校グラウンドにドクターヘリの離発着があったため、途中で中止となってしまったことが、少々残念である。

地域防災講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

「くらしの講座」 布ぞうりづくり

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学入門講座 歴史講座「弥富の歴史」

- ①開設趣旨 高齢者から現役世代成人を対象に地域の伝統・文化・歴史について学び、伝えていく講座を開催する。
- ②募集対象 市内の成人 12~24人 動画配信(1回目)
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月24日(木) 14:00~15:30	弥富の伝説とその周辺	佐倉市史編さん委員 内田 儀久
2	10月23日(土) 14:00~15:45	近世の玉縄北条氏 —北条氏勝・氏重について—	千葉県立郷土博物館 総括主任研究員 外山 信司
3	12月16日(木) 9:45~11:45	弥富文化財収蔵庫見学会	大野 尊史 文化課職員

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症への対応を考慮する中で、参加人数を制限するとともに、連続講座を見送り、単発の歴史講座として実施した。なお、1講座目はZoomミーティングを使用してオンライン配信も同時に行った。

1講座目は、弥富地域の昔話・伝説を取り上げるとともに、その周辺の時代と関連する事柄に話題を広げ、地域の歴史への理解・関心を高める契機とした。

2講座目は、宝金剛寺(直弥)・和田公民館との連携事業として実施した。岩富城主の北条氏勝が同寺に寄進した七条袈裟・横被の修復が完了し、今後始まる企画展等の活用事業に関連する講座を行い、地域の歴史への理解・関心を高める契機とした。

3講座目は、旧弥富小学校敷地内にある「民俗資料展示室」及び「旧弥富小学校校舎」の現地見学会を実施した。地域の農村生活における民具等を実際に目にすることにより、昔の暮らしを伝えていくとともに、埋蔵文化財の出土品の収蔵・保管・整理の現場を見学し、地域の歴史と埋蔵文化財への理解と興味を深める機会とした。

佐倉学入門講座 「弥富野草散策観察会」

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して、郷土を学ぶ機会とする。

②募集対象 市内の成人 10人 動画配信

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月14日（金） 9：00～12：00	弥富野草散策観察会	千葉県自然観察指導員 阪上 津留美

④講座を終えて 飯塚地区の豊かな自然と谷津田、社寺や史跡の風景と共に、様々な野草を観察し、ふるさとへの関心と誇りを高め、郷土について学んだ。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、参加人数を制限したうえで、活動内容の動画をオンライン配信し、参加できなかった方へも学習機会を提供するとともに、広く地域の歴史を紹介した。

佐倉学入門講座 竹炭づくり体験

①開設趣旨 昔より伝わる竹炭づくりの技法を体験することにより、弥富地区の自然と伝統について理解を深める。

②募集対象 市内の成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月25日（木） 9：30～12：30 11月26日（金） 9：30～10：30	一日目 窯組み～火入れ 二日目 取り出し	中村 恵夫

④講座を終えて 竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

例年では、午前から昼食を挟んで午後にかけての1日講座として、あらかじめ焼いておいた竹炭を窯から取り出した後に、窯組み・火入れを行い終了とするプログラムだった。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応として、一堂に会して昼食をとることを避け、作業を2日間に分け、本来の作業手順どおりに実施する方法に変更した。

4. 団体育成事業

ふるさと弥富を愛する会

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富地区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民及び団体相互の連絡、交流、調整等を行う。
2. 自然環境保全事業として「ホテルの里づくり」や「ビオトープ整備」等を実施する。
3. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」の継続実施や、歴史文化事業を実施する。
4. 健康福祉増進事業として、グラウンドゴルフ大会を実施する。
5. 安全安心事業として、防災訓練・防災講演会等を実施する。
6. 広報事業として、広報紙の発行等を実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

5. 広報活動事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
- 発行回数 年3回（5・11・1月号）
- 発行部数 700部/回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

6. 図書事業

図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。また、地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置している。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味しているが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われる。

中世は、上総介一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなる。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足した。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯であったが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、更にはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっている。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、更に成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっている。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面も持ち合わせている。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km²、人口は14.7%に当たる25,212人であるが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展している。

根郷地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 根郷地区：面積 約17.5km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 根郷地区：住基人口 25,212人 （佐倉市：住基人口 171,747人）
- 根郷地区：人口密度 1,440人/km² （佐倉市：人口密度 1,656人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部利用制限付き開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。

施設利用

開館日・開館時間

①日曜・月曜・火曜・祝日 9時～17時

②水曜～土曜 9時～21時

※17時以降の施設利用がない場合は17時まで

利用区分 1時間単位（9時～21時）

休館日 第2・4月曜日、年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	3,416	2,972	2,547	630	1,571
利用人数 (人)	33,794	33,257	27,829	4,673	11,949
開館日数 (日)	333	332	309	239	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和3年 4月 1日～令和3年11月14日・・・一般利用（一部利用制限付き）

令和3年11月15日～令和4年 3月31日・・・利用制限のうち調理を伴う活動を可とする。（飲食は不可）

令和3年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
ホール	3,418	758	22.2%
学習室 1	3,418	886	25.9%
学習室 2	3,418	474	13.9%
プレイルーム	3,418	849	24.8%
調理室	3,418	223	6.5%
和室	3,418	226	6.6%
集会室	3,418	803	23.5%

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応

令和3年8月4日～9月30日・・・開館時間を20時までに短縮

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ	2歳児と保護者 16組 (8組×2コース)	【前期】4組8人 5/13 4組8人 5/20 4組8人 5/27 4組8人 6/3 4組8人 6/10 4組8人 6/17 4組8人 【後期】4組8人 10/14 3組6人 10/21 3組6人 10/28 4組8人 11/4 3組6人 11/11 4組8人 11/18 3組6人	全6回の講座の前半3回は、親子で一緒に絵本・手遊び・工作等を楽しみ、後半3回は体操を中心に 行い、幼児の様々な発達を促した。
	ちば探訪	小学生と保護者 8組	7月 1回	ちばをテーマに、自然や史跡、文化等を親子で訪ねて学ぶ。郷土を再発見することにより郷土愛を高める。
	こども工房	家族とつくる クリスマス木工 クラフト こどもと家族 8組	12/19 大人 5人 こども 7人	こどもとその家族で行うワークショップを通じて豊かな心を育むプロセスと時間を提供し、家庭の教育力の向上を図った。
青少年教育	根郷公民館 防災ダイキャンブ	根郷・寺崎・山王小学校の児童 15人	7/11 13人	災害時に役立つスキルを学ぶとともに、子供たちの自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育んだ。 また、子供たちの体験活動に係ることにより、地域住民や地域団体のつながりを深め、災害時の共助について考える一助とした。
	子ども体験講座	おもしろ 科学実験隊 小学4～6年生10人	9月～10月 2回	液体窒素や偏光フィルムを使った、理科に親しむ実験を行う。
		勾玉づくり 小学3～6年生14人	8/17 14人	体験型事業として、「勾玉づくり」を開催し、子どものやる気や自主性・協調性等を養った。
		絵画教室 小学3～6年生10人	7/30 11人	「色と形で気持ちを描こう―後ろはどんな形なの？後ろ姿で表現しよう―」をテーマに作品を制作する。
佐倉学	佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども 水辺探検ツアー	小学生 20人	7月 1回	生活環境課と共催。印旛沼等の自然環境やその他の自然体験学習により、環境への意識を育む。
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 1グループ 30人 2グループ 30人	1グループ 5/21 29人 7/7 30人 9/17 26人 11/19 26人 1/21 中止 3/18 中止 2グループ 6/18 29人 8/4 26人 10/15 27人 12/17 27人 2/18 中止 3/18 中止	教養の向上と社会参加の推進を目的とし、郷土の歴史や文化、健康づくりなど幅広い分野を学んだ。また、受講者同士の交流も図った。 5・6月：開講式 オリエンテーション 7・8月：生活習慣病予防講座 9・10月：笑いで健康寿命を延ばそう 11・12月：長嶋さんとその時代 1・2月：高齢者の相談窓口「地域包括支援センター」の職員と一緒に明るく元気に健康づくり 3月：1年のまとめ 開講式
	シニアのための健康づくり講座	成人 各回15人	Aグループ 10/6 15人 10/20 14人 Bグループ 10/13 13人 10/27 13人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単にできる有酸素運動等を中心に健康体操を実践した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
	シニア向け初めてのスマートフォン教室	60歳以上 15人	11/9 12人	スマートフォンを、安心・安全に使うには、どうしたらよいか。KDDI(株)社員を講師に、理解を深めた。
	園芸教室	成人 15人	基礎講座 6/21 15人 体験講座 7/20 13人	佐倉ハーブ園連携し、ハーブについての講義とハーブ園見学など地元企業を知る講座を実施した。
	防災講座	成人 30人	7月 1回	地域住民の防災意識の向上させることにより、地域の防災力を強化する。(根郷防災デイキャンプと一緒に実施)
	千葉県文書館出前講座	千葉県における電気事業の変遷と発展 成人 30人	講師の都合により中止	明治期から戦前期までの電気事業史から、千葉県内に電気がどのように広まっていったか、佐倉市に電気が来たのはいつかなど、今では生活に欠かせない電気の歴史について学び、地域への理解を深める。
佐倉学	佐倉学入門講座	写真にみる佐倉の近・現代 成人 30人	9/10 25人	明治～昭和の佐倉の移り変わりをわかりやすい写真から学ぶことで郷土への愛着と理解を深め、地域を見直す機会とした。
		衛生行政のはじまりと伝染病予防対策 成人 30人	6/2 16人	明治初期から新たに布かれた衛生に関する制度や伝染病予防方法と、その当時の地域の人々の様子を学ぶことで郷土への愛着と理解を深めた。
		根郷ふるさと探訪 成人 各10人	野草観察会 7/3 雨天中止 10/9 10人 寺崎散策 11月 1回	根郷地区を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しんだ。 根郷をテーマに学び、自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。
	佐倉学体験講座	こんにやく作り講座 成人 10人	3月 1回	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て実施する。講座を通じて地域住民同士の交流を図る。地元根郷地区の食材を使用してこんにやく作りを行う。
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への支援	該当団体	通年	「根郷地区青少年育成住民会議」、「南部地区子ども会育成会連絡協議会」及び各種団体の活動の支援を行った。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	6月 1回 (書面開催)	公民館の活動について理解を深めて頂くと共に利用団体からの意見、要望を伺った。また、グループ活動の意義の理解を深めた。
	調理室利用者懇談会	利用団体代表者	6月 1回 (書面開催)	公民館の活動について理解を深めて頂くと共に利用団体からの意見、要望を伺った。衛生環境を徹底するため整理整頓作業を行った。
広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	4/20 400部 9/15 8,800部 3/15 400部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	貸出人数 655人 貸出数 1,795冊 返却数 3,627冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。

1. 家庭教育事業

親子で遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ

①開設趣旨 絵本や親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期的人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

②募集対象

前期 平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの子と保護者 8組

後期 平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの子と保護者 6組

③プログラム

(前期)

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月13日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ はじめまして	楽母楽子 廣田 和子
2	5月20日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう	
3	5月27日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ 魚釣りをしよう	
4	6月3日(木) 10:00～11:00	体操 投げたり、転がしたり、ボールで遊ぼう	米田 葉子 小林 松美
5	6月10日(木) 10:00～11:00	体操 タオルを使って体を動かそう	
6	6月17日(木) 10:00～11:00	体操 フープやマットにチャレンジしよう	

(後期)

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月14日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ はじめまして	楽母楽子 廣田 和子
2	10月21日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ 作ったもので遊んでみよう	

3	10月28日(木) 10:00～11:00	絵本の読み聞かせ 魚釣りをしよう	
4	11月 4日(木) 10:00～11:00	体操 楽しく動いてみよう	米田 葉子 小林 松美
5	11月11日(木) 10:00～11:00	体操 楽しく動いてみよう	
6	11月18日(木) 10:00～11:00	体操 楽しく動いてみよう	

④講座を終えて 昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大により前期・後期ともに事業を実施することができなかった。今回感染予防の対策をとりながら、安全・安心の講座を運営することを念頭に事業を実施した。まず、対象児を2歳児とその保護者とした。また、募集定員は8組、学習回数は今までの半分の6回とし、学習内容や時間の見直しも行った。新型コロナウイルス感染拡大防止の注意事項や健康観察カードを事前に送付し、参加する受講生も前もって準備できるよう配慮した。受付や会場内の立ち止まる場所に親子2名の足跡マークの配置やトラ柄模様のテープの貼付、フロアマットの設置で立ち入れる場所、立ち入れない場所を明示して、2歳児にもわかるようにした。事業終了後は自分の使用した道具の消毒作業を保護者に依頼し、協力してもらった。感染予防対策を見える形で提示することで、理解と信頼を得られたと感じた。

3密を回避することを最優先に事業を実施したため、受講生が協力しながら一緒に作る、作ったもので一緒に遊ぶ機会を持つことはできなかった。受講生の交流を図り、地域における仲間作りの機会を提供するという講座本来の狙いに十分コミットできなかった点は残念に思う。

アンケートでは同年代の子と遊ぶ機会があまりなかったので助かった、機会があればまた参加したい、という声が寄せられ、受講生は概ね満足感を得られたようだった。

ちば探訪

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

こども工房 家族とつくるクリスマス木エクラフト

①開設趣旨 木工材料を使って、こどもとその家族で協力しておもちゃを制作する。ワークショップを通じて、豊かな心を育むプロセスと時間を提供する。

②募集対象 こどもと家族 5組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月19日(日) 13:30～16:00	親子で、クリスマスにちなんだ木エクラフトづくり	アトリエ そうわーくす

④講座を終えて こどもとその家族を対象に実施する木エクラフト講座は、講師に地

元で創作教室を主宰しているアトリエそうわーくすを迎え、今回で4回目を数える。

今年度制作するクリスマスにちなんだクラフトは「クリスマスツリー」。

こどもたちは講師が用意した木の枝や木片を選び分け、グルーガンやドライバーを使ってクリスマスツリーを作り、松ぼっくりや木の実、モールでツリーを装飾して仕上げた。

松ぼっくりは講師の自宅に植えられているドイツトウヒで、長さ約20cmと球果が圧倒的に大きい。ドイツトウヒの松ぼっくりは、鳩時計の下にぶら下がっているおもりのモチーフに使われることが多い。見たことはあっても手に取る機会の少ないもので、こどもたちは珍しそうに飾っていた。このクリスマスツリーは装飾物を取り払うと鍵やアクセサリー、写真などを掛けられるインテリアとなる、と講師から紹介があった。

創作作業終了後、前列の机にすべての作品を並べ見比べた。材料は同じでも、天然素材は形・長さがそれぞれで、一つとして同じものがない。その人だけの作品ができあがった。新型コロナウイルス感染症が収束したら、お互いの作品の良いところや工夫したところなどを話し合う交流の機会も設けていきたい。

講師からは作品を持ち帰ったら、今日来ていない家族や友達に見せて、物を創る楽しい時間を分かち合ってもらいたいと話があった。

2. 青少年教育事業

根郷公民館防災デイキャンプ

- ① 開設趣旨 災害時に役立つスキルを学ぶ中で、子供たちの自主性・協調性を高め、心豊かでたくましく生き抜く力を育むとともに、子供たちの体験活動を通じ、災害時の共助について考える一助とする。
- ② 募集対象 根郷地区の小学4～6年生 15人、根郷地区の中学生 6人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月11日（日） 9：00～11：30	起震車体験、防災倉庫見学、防災啓発ビデオ鑑賞	危機管理課職員

- ④ 講座を終えて 本年度は新型コロナウイルスの感染の影響で規模を縮小して実施した。「密集を避けること」、また、学校側と相談する中「児童・生徒同士の接触を避ける」という条件で事業内容を検討した。そこで「起震車体験」「防災倉庫見学」「防災啓発ビデオ鑑賞」の3つとした。
- 起震車体験では、「東日本大震災」と「阪神淡路大震災」の二つの揺れを体験。担当者から「最近言われている、首都直下型地震は阪神淡路大震災と同じ縦揺れとなる」との説明を受けた。今後の発生が予想される揺れを体験できたことで、今後の地震発生時に対する心構えなど事前の備えができた。地震の揺れの違いを比較体験できる機会はこれまで無かったので、生徒・児童にとって貴重な実体験となった。
- 「防災倉庫見学」ではリストなどを見ながら、実際の備蓄品や発電機などを確認。児童・生徒にとって身近な存在である小中学校には防災倉庫、防災井戸があり、体育館は避難所にもなる。災害時に学校が地域において重要な役割を果たしていることを学んだ。
- 「防災啓発ビデオ」では、登下校で地震にあった時の注意点、災害時のいざという時の連絡方法、家具の固定など、身近な題材が分かりやすく説明されていた。特に災害時を想定し、事前に家族で話し合っておくことの大切さを学んだ。
- 近年台風などの災害が増え、首都直下型地震の発生も予想される中、今回は3つのプログラムであったが、より多くの様々な体験を通じ、児童・生徒の防災に対する意識の向上、災害時の心構え等を醸成していくことの重要性を感じた。

子ども体験講座 おもしろ科学実験隊

- ① 開設趣旨 子どもたちの五感を刺激する実験をとおして、遊びながら新しい発見をすることで、科学の不思議さ・楽しさに触れてもらう。
- ② 募集対象 小学4～6年生 8人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月25日（土） 13：00～15：00	液体窒素を使って超低温（-196℃）の世界を見てみよう！	成田市立成田西中学校 教諭 宮本 利之

2	10月 2日(土) 13:00~15:00	「浮いてこい」を作ってみよう!	千葉工業大学 教授 半沢 洋子 他1名
---	--------------------------	-----------------	---------------------------

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

夏休み子ども体験講座 勾玉づくり

①開設趣旨 勾玉作りや展示する土器などを通して、縄文時代の生活に触れる機会とするとともに、ものづくり体験の喜びを実感してもらうことで受講者のやる気や自主性を養う。

②募集対象 小学3～6年生 14人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月17日(火) 10:00~12:00	勾玉づくり 古代のアクセサリーをつくろう	千葉県教育委員会 文化財課職員

④講座を終えて 最初に縄文時代や弥生時代の土器や石器などについて解説があり、子どもたちは、出土した遺物に触れたり、講師が製作した石器で新聞紙を切ってみるなど、様々な体験を通して、楽しみながら古代の人々の暮らしについて学習することが出来た。

勾玉作りは、滑石を砥石や紙やすりを使って削り・磨く、根気のいる作業だったが、子どもたちは、熱心に講師の説明を聞きながら、1時間半かけて世界に一つの勾玉を作り上げることが出来た。

アンケートでは全員が楽しかった、次回も参加したいと答えており、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が制限されている夏休みの中で、楽しい体験の一つとなれば幸いである。

夏休み子ども体験講座 絵画教室

①開設趣旨 体験型の講座を通して、受講生のやる気や、創造力、自主性を養う。

②募集対象 小学3～6年生 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月30日(金) 13:00~16:30	色と形で気持ちを描こう 後ろはどんな形なの?後ろ姿で表現しよう	ワールサークル会 員 他

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

佐倉っ子塾共通講座 夏休み子ども水辺探検ツアー

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

3. 成人教育事業

根郷寿大学

①開設趣旨 高齢化社会の中で、郷土愛を育み、地域の中で連帯を持ちながら健康で充実した生活を過ごせるよう、健康の保持増進、歴史・文化、社会現象などの学習の場を提供するとともに、受講者同士の交流を図る機会を提供する。

②募集対象 60歳以上 ①グループ30人、②グループ30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月21日（金） 9：20～11：30	開講式、オリエンテーション 日程説明、班長（副班長）の選出、 グループ討議	館長 担当
	6月18日（金） 9：20～11：30		
2	7月7日（水） 9：20～11：30	生活習慣病予防講座	みつば脳神経ク リニック理事長 大木 剛
	8月4日（水） 9：20～11：30		
3	9月17日（金） 9：20～11：30	笑いで健康寿命を延ばそう （講義とDVD鑑賞）	高齢者福祉課職 員
	10月15日（金） 9：20～11：30		
4	11月19日（金） 9：20～11：30	長嶋さんとその時代	市史編さん委員 内田 儀久
	12月17日（金） 9：20～11：30		
5	1月21日（金） 9：20～11：30	高齢者の相談窓口「地域包括支援セ ンター」の職員と一緒に明るく元気 に健康づくり	南部地域包括支 援センター職員
	2月18日（金） 9：20～11：30		
6	3月18日（金） 10：00～11：30	グループ発表 閉講式	館長 担当
	3月18日（金） 13：30～15：00		

④講座を終えて 今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら、いかに多くの方に受講してもらえるかを検討した結果、奇数月・偶数月の2グループに分け、同一内容の講座をそれぞれ実施するという形式となった。

コロナ禍において、人と会う機会が大きく減少していることから、まず公民館に足を運んでもらうことを念頭に、健康づくりを中心とした講座内容とした。

しかしながら、第5回・第6回の講座は、新型コロナウイルスの変異株による感染が拡大したことにより、残念ながら中止となってしまった。

グループ活動も積極的に行えない状況下において、受講者同士の交流を深めることは難しい面もあったが、講座に関する受講者アンケートでは、概ね良好の評価が得られた。

今年度は94名の受講申込みがあったことから、次年度は、さらに多くの方が受講できるよう実施方法について検討したい。

シニアのための健康づくり講座

- ①開設趣旨 シニアの世代になっても健康で暮らせるように、生活習慣病の予防に役立つ日常生活の中で簡単にできる運動について学び、シニア世代のQOL（生活の質）の向上を図る。
- ②募集対象 成人 Aグループ15人、Bグループ15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	Aグループ 10月 6日（水） 10:00～11:30	柔軟、筋トレ、有酸素、バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	AFAA認定 インストラクター 森 たか子
	Bグループ 10月13日（水） 10:00～11:30		
2	Aグループ 10月20日（水） 10:00～11:30		
	Bグループ 10月27日（水） 10:00～11:30		

- ④講座を終えて 昨年に引き続き今年度も定員を15名とし、A・B 2つのグループそれぞれ2回で講座を実施した。

今までの電話による先着順の申込みから、メール、ハガキ、FAXによる申込み方法に変更した。過去2年間受講したことの無い参加者が半数以上を占め、新たな層を呼び込むことができたと思う。

募集時点では、新型コロナウイルス感染症拡大傾向が続き、一時は開催自体も危ぶまれたが、無事講義と実技を交えた1時間30分の内容で行うことができた。

今年度のテーマは「作ってみよう！やってみよう！健康づくりの自分モデル 暮らしの中で体を動かすことを楽しもう」

講師は講座冒頭に市の施策「チャレンジマイヘルスプラン2021」を紹介し、主体的に健康づくりに取り組む大切さを説明した。この事業は市の広報紙やHPでお知らせしているものの、参加者の認知度は今ひとつのようだったが、講座終了後には自分なりの健康づくりの機会になるからと、友人も誘って応募する、という参加者もいた。

また、講座終了後の健康づくりをどうしようかと悩んでいる参加者が、本講座から立ち上がった自主サークルに入って活動を始めるなど、運動を習慣にして取り組む様子も見られた。

アンケートでは、「講座に参加して満足17名、やや満足8名(無記入1名)」と回答があり、参加者の満足度は今年度も高かった。学ぶ意欲の高まりや運動の継続など、講座開設には効果があったと考えられる。コロナ禍にあって不要不急の外出自粛で、長い期間自宅に引きこもることを余儀なくされてきたが、人生100年時代シニアが健康に暮らすために、食事・運動・社会とのつながりの重要性を改めて学び、自分の健康に向き合う機会となった。

シニア向け初めてのスマートフォン教室

- ①開設趣旨 スマートフォンを、安心安全に使うにはどのようにしたらよいか。シニア世代に向け、操作方法や便利なアプリの紹介も含め、理解を深める機会とする。
- ②募集対象 60歳以上 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 9日（火） 13:30～15:30	基本的な使い方や文字の入力方法、簡単なゲームアプリの使い方を学ぶ	KDDI（株）社員

- ④講座を終えて 講義内容は、基本的な使い方や文字の入力方法、マップの使い方、インターネットの使い方など。特に便利な機能としての音声入力に関しては、興味をもって操作している様子が見受けられた。また、災害時に便利な伝言板の使い方も学んだ。今回の受講者のほとんどがガラケーを使用しており、2022年から2026年にかけて各社3G回線提供の中止に伴うスマートフォンへの買い替えを迫られているものと思われる。そういった方々のスマートフォン操作に対する不安を解消できる意義のある講座となった。
- 今後スマートフォンが生活で果たす役割が大きくなっていくことが想定される中、対象者や学習内容の見直しをしながら、充実を図っていきたい。

園芸教室 ハーブに親しもう

- ①開設趣旨 佐倉ハーブ園と連携し、ハーブという植物を通して、園芸の基礎を学ぶとともに、地域について知る機会とする。
- ②募集対象 成人 15人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月21日（月） 10:00～12:00	栽培の基礎と管理の方法についての講義	佐倉ハーブ園園長 柴田 忠裕
2	7月20日（火） 10:00～11:30	ハーブ園散策とハーブを使っの挿し木の實習	

- ④講座を終えて 第1日目は「栽培の基礎と管理の方法」についての講義があった。内容としては、植物を育成する上でのアミノ酸の働き、連作障害についてなど栽培の基本的な内容から、ハーブの利用法、ハーブ栽培のポイントなどについて実践的な説明があった。また、実際にその場でハーブティの入れ方を実演するなど具体的に分かりやすい講義内容となった。一方、受講者からは非常に専門的な質問も出ており、初心者はもちろん、専門的に学ぼうとしている方まで満足できる講義となった。
- 第2日目は「ハーブ園散策とハーブを使っの挿し木の實習」を行った。ハーブ園の散策では、参加者は熱心にメモを取りながら講師の話に耳を傾けていた。実際に生えている数種のハーブの香りを嗅ぎ比べたり、木に生っているブルーベリーを味わったりと、めったにできない貴重な体験となった。後半は、講師が挿し木の实演を行った。土の作り方から植え方、その後の管理の仕方など丁寧に説明を受けながら、各受講者も挿し木を行った。最後にオリジナルのハーブティを味わったりと、充実した内容の講義となった。

防災講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

千葉県文書館出前講座 千葉県における電気事業の変遷と発展

①開設趣旨 明治から戦前期までの電気事業史から、千葉県内に電気がどのように広まっていったか、佐倉市に電気が来たのはいつかなど、今では欠かすことのできない電気事業の歴史について学び、地域への理解を深める。千葉県文書館の出前講座として開催する。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月22日（金） 10:00～11:30	明治から戦前期までの電気事業史から、千葉県や佐倉市に電気がどのように発展してきたかを学ぶ	千葉県文書館 中臺 綾子

④講座を終えて 講師の都合により中止。

佐倉学入門講座 写真に見る佐倉の近・現代

①開設趣旨 明治から昭和の佐倉の移り変わりをわかりやすい写真から学ぶことで郷土への愛着と理解を深め、地域を見直す機会とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月10日（金） 13:30～15:30	写真集「写真に見る佐倉」を使って、佐倉の明治～昭和の武士の姿、風景、学校、鉄道、印旛沼、連隊、銃後の生活などの移り変わりを学ぶ	市史編さん委員 内田 儀久

④講座を終えて 内田儀久氏を講師に迎え写真集「写真に見る佐倉」を使って、明治から昭和にかけての佐倉の移り変わりを映像を見ながら講義を聴く形をとった。人気があり受講は抽選となった。

写真集1冊の分量が多いため明治から戦中までの期間に限定し、町や人の様子が紹介された。堀田家の深川の庭園など印象に残る写真が数多く紹介された。今回は講義ではなく映像が中心になっているため、佐倉の歴史の移り変わりをリアルに感じることができる講座となった。また、特徴としては、写真集のキャプションには書かれていない、写真提供者から得られた写真にまつわるエピソードなどが多く紹介された点である。例えば2枚の写真、時系列的にはA→B。しかしAは洋髪でBは髷姿。時系列的には逆に感じられる。実はBは後になって武士の姿を写真に残しておこうと、わざわざ髷を結って撮影した写真であった。正に編集に携わった人ならではの貴重な話が聞くことができた。

当日配布した資料が非常に詳細にできており、受講者からも好評であった。アンケートからも続編を望む声があり、写真集の後半部分の講座開設も視野に来年度事業を考える必要があると感じた。

佐倉学入門講座 衛生行政のはじまりと伝染病予防対策

①開設趣旨 明治初期から新たに布かれた衛生に関する制度や伝染病予防方法と、当

時の地域の人々の様子を学ぶことで郷土への愛着と理解を深める。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月 2日（水） 10:00～12:00	明治以降、町村役場はコレラ・赤痢等の伝染病予防方法をどのように普及し、地域の人々はその内容をどのように知り、習慣として定着させたのかを、残された資料から探る	市史編さん委員 中澤 恵子

④講座を終えて 新型コロナウイルスの感染が始まって1年半。今だに収束が見えない中、伝染病予防を身近な問題として捉え、その対策を過去の事例から学ぶことができたのは意義深かった。

講義は、明治時代の歴史的資料を中心に進められ、内容は、明治政府が衛生行政を始めた経緯、制度の整備、地域社会における予防方法など。また佐倉学入門講座ということもあり、根郷地域の当時の対応についても触れられており、地元の受講者の方々にとってはより興味深いものとなった。

配布された資料には、当時のマスクの装着法の図解、新聞記事の切り抜きなど視覚に訴えるものも多く、具体的で分かりやすく印象に残るものとなっていた。「100年以上前に流行したスペイン風邪でも、ほぼ現在と同じようなマスクの着用対策が取られていたことには驚かされる」といった受講者からの感想もあった。

今後も、多くの方に興味を持っていただけるよう時流に合った話題を取り上げ、併せて地元との関連も視野に入れながら講座を展開していきたい。

佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪

①開設趣旨 郷土の歴史・文化・民俗・自然をテーマに学び、散策を交えて、郷土愛を高める。

②募集対象 成人 各10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月 3日（土） 9:30～12:00	野草観察会 寺崎地区を散策しながら、野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
2	10月 9日（土） 9:30～12:00	秋の野草観察会 寺崎地区を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、郷土の自然について関心を高める	佐倉野草会 近藤 維久子
3	11月 8日（月） 13:30～16:30	寺崎地区史跡めぐりと寺崎薬師大祭に行こう！	菊地 昭夫 井原 重之

④講座を終えて 第1回は雨天のため中止、第3回は新型コロナ感染症の感染拡大防止のため中止

第2回は「寺崎地区の古木と野草をたずねて」をテーマに秋の野草観察会を実施した。参加者は、講師の解説を熱心に聞きながら、市の名木古木に選定されているタブノキ（樹齢300年）やスダジイ（樹齢250年）、ケンボナシ（樹齢200

年)、秋の野草などを観察した。講師が持参した植物のサンプルや資料は、植物の魅力を感じ取れるもので、非常に好評であった。参加者から「とても楽しく散策することが出来た」、「次回もぜひ参加したい」など多くの声が寄せられた。

根郷地区には豊かな自然が多く残されており、今後も地域の自然に親しむ機会を提供していきたい。近年、地域の方の協力で、寺崎城址にはヤマユリが群生するようになり、今後の保存活動が期待される。

佐倉学体験講座 こんにゃく作り講座

①開設趣旨 江戸時代には、将軍家への献上品として有名だった佐倉特産のこんにゃく。地元の根郷地区で栽培されたこんにゃく芋から、こんにゃくを手作りして調理し、参加者同士の交流を図る。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月 3日(木) 9:00~12:00	佐倉で栽培収穫されたこんにゃく芋を使い、地域住民の協力を得てこんにゃくを手作りする	根郷小学校ふれあいボランティア 代表 牛玖 昌弘

④講座を終えて 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

4. 団体育成事業

根郷地区社会教育関係団体への支援

根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

南部地区子ども会育成会連絡協議会

子ども会は、地域の中で異年齢の子どもたちがさまざまな活動を通じて行動することにより、子どもの社会的成長の糧となる活動である。例えば、子ども会での異年齢での活動は、協調性やリーダーシップを、地域活動では郷土愛が、奉仕活動により公共性が、また、創作活動により創造性が育まれるなど、さまざまな活動による効果が期待されている。

根郷公民館を活動拠点とした南部地区子ども会育成会連絡協議会（南子連）は、南部地区内の子ども会及び子ども会を取り巻く関係諸機関、団体等との連絡調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的に活動を進めている。

例年、子ども会活動に役立つゲーム講習会、交流会や研修などの事業の実施、広報紙「あくていぶ」の発行、子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ほとんどの活動は中止となった。

今できる子ども会の活動の話しあいを重ね、広報紙「あくていぶ」の発行やオンラインによる会議を実施した。

定期利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面にて開催。

調理室利用者懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面にて開催。

5. 広報事業

根郷公民館だより

- 趣旨 公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。
- 発行回数 年3回（4月20日、9月15日、3月15日）
- 発行部数 4月20日号 400部 9月15日号 8,800部
3月15日号 400部
- 配布方法 各公民館・図書館の窓口配架。
根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布（9月15日号）

6. 図書事業

図書の貸出・返却

- 趣旨 読書活動を支援すると共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図った。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図った。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行った。
- 蔵書数 約3千冊
- 月別貸出冊数・返却冊数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	144	103	144	147	169	169	182	153	148	134	145	157	1,795
返却数 (冊)	300	261	319	259	321	342	298	326	285	298	227	391	3,627

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和4年3月末現在では、佐倉市の総人口171,747人に対し志津地区の人口が75,348人となっており、その割合は43.9%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 志津地区：面積 18.52km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 志津地区：住基人口 75,348人 （佐倉市：住基人口 171,747人）
- 志津地区：人口密度 4,068人/km² （佐倉市：人口密度 1,656人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

佐倉市立公民館活動計画の基本理念を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染防止拡大に努める。
- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進。
- 学習した成果が地域社会に還元され、地域の人材が活用される環境づくりの醸成。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するため調整を行う。

事業内容

1. 学級講座の開設
家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容充実。
2. グループや団体の育成援助
公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成援助。
子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助と相互連携。
3. 広報活動
市民への情報提供や意見交換の場としての公民館だよりの発行と各種情報資料等の収集整備と提供。
4. 図書活動
郷土学習などを中心とした図書の整備と館外貸し出し、及び図書館との連携。
5. 施設の提供
原則として2か月前の月初めの日から使用申込みの予約を受け付け、使用許可書を交付する。
 - ・開館日時 ①日・月曜日、祝日 9時～17時
 - ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
 - *夜間の使用申込みがない場合は17時で閉館
 - ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	7,273	7,453	6,888	2,226	5,343
利用人数 (人)	91,992	92,177	85,649	20,144	45,978
開館日数 (日)	333	333	309	235	333

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する対応

令和 3 年 8 月 4 日～9 月 30 日・・・千葉県に緊急事態宣言が発令されたため、
開館時間は午後 8 時まで

令和 3 年 11 月 15 日～・・・調理室の貸出を再開。ただし飲食は水分補給を除き不可とする

令和 3 年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210 会議室	3,603	1,742	48.3%
220 会議室	3,603	1,609	44.7%
201 会議室	3,603	1,135	31.5%
202 会議室	3,603	1,158	32.1%
調理室	1,316	32	2.4%
310 会議室	3,603	1,441	40.0%
和室	3,603	693	19.2%
401 会議室	3,603	1,323	36.7%
アトリエ	3,603	1,238	34.4%
大会議室 A	3,603	2,239	62.1%
大会議室 B	3,603	2,301	63.9%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、線引き事業については中止とした。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	笑顔で子育て 応援講座	子どもと保護者	5月～3月 7/17 2人 3/8	子どもが健全に育つため、親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。 7/17 ひとりで抱え込まない子育て 3/8 ハッピーマインドヨガ
青少年教育	志津子ども教室	小学生	5月～3月 8/2 17人 8/3 7人 8/4 17人 12/18.19 91人 12/18 21人 12/25 20人 2/19	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/2 廃食油で作る「エコキャンドル」 8/3 地震・台風について考えよう！ 8/4 縄文体験学習「古代にふれてみよう！」 12/18 たこづくり大作戦！ 12/19 たこづくり大作戦！ 12/18 親子で作ろう やさしい寄せ植え 12/25 志津地区に伝わる伝統の辻ぎり作り 親子体験 2/19 廃食油で作るエコせっけん
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。
しづ市民大学	しづ学入門	成人 30人	5月～12月 7回 土曜日 開講式 5/22 閉講式 12/11 講座 5/22～ 12/11	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。 平均：71歳、男性19人・女性11人
	健康とくらし	成人 30人	5月～11月 7回 火曜日 開講式 5/25 閉講式 11/16 講座 5/25～ 11/16	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学びを通じて、地域の中で連帯を図る。 平均：74歳、男性 9人・女性21人
成人教育	佐倉学特別講座 (講演会)	成人 30人	8月～2月 1回 11/27 49人	佐倉の歴史等に関する講座を開催する。 11/27 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 10人	11月～2月 11/4 10人 11/11 9人 11/18 9人 11/25 9人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
	佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 6人	9月～12月 9/22 11人 9/29 11人 10/6 11人 10/13 ※雨天延期 10/20 10人 10/27 11人 11/3 10人	「佐倉学」の普及を図りながら、佐倉城主が通った「佐倉道」を歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史も含めて理解を深める。 9/22 座学：佐倉道を歩く（序論） 9/29 散策：江戸川～東中山 10/6 散策：東中山～薬園台 10/13 散策：雨天延期10月27日 10/20 散策：勝田台～白井 10/27 散策：薬園台～勝田台 11/3 散策：白井～佐倉城大手門跡
	佐倉学入門講座・地域人材育成講座 「成田道を歩く」	成人 7人	9月～12月 11/25 7人 12/2 7人 12/9 7人	「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高める。また、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的とする。 11/25 散策：京成佐倉～京成酒々井 12/2 散策：京成酒々井～公津の杜 12/9 散策：公津の杜～成田山総門前（寺台舎）
	包丁について学ぶ	成人 6人	8月～2月 1回 11/30 6人	コロナウイルス感染症のため、ステイホーム（在宅）する時間が増え、料理に興味を持つ方も増えている報道がある。そこで、調理講座はできないが、包丁研ぎを学び、料理に役立てていただく。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	サークル運営 研修会	公民館利用サークル 代表者約120人	4月～5月 ※令和3年度については 書面開催 4/15 発送	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、 自主性を高め地域活動につなげる。 ・発送数 421団体
	調理室利用 サークル懇談会	調理室利用サークル	6月・11月 2回 ※感染状況を見ながら 実施予定	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への 支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸配布 市内主要施設配布	4/15・10/1 各12,000部発行	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、 公民館活動への理解と認識を深めるとともに、 各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

笑顔で子育て応援講座

(1) 「ひとりで抱え込まない子育て」

- ① 開設趣旨 子育てに対して学びを深めたい方に向けて、子育てに取り組む方法や自己や子どもと向き合う姿勢を学ぶ。
- ② 募集対象 (1) 保護者10人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月17日(土)	子育て講演会	子育てをする保護者自身の自己肯定感について学ぶ。	廣田 和子

④ 講座を終えて

「ひとりで抱え込まない子育て」 今回は、コロナウイルス感染症の対策のため、受付時、検温・健康チェック・手指消毒、講座中は、換気を実施し、感染拡大防止に努めた。講演会であったが、ワークショップの形も取り入れ、受講生自らが自分の内面を言語化する作業を行い、お互いに共有をしあった。アンケート結果を見ると、自己肯定感を持つことの大切さや、将来の夢、今後の目標を定める事など、具体的な学びがあったことがわかる。今後は体験型の講座も検討していきたい。

(2) 「ハッピーマインドヨガ」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

- ① 開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。
- ② 募集対象 小学生
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 2日(月)	廃食油で作る「エコキャンドル」	廃食油や空き瓶を再利用してキャンドルを作る	千葉県地球温暖化防止活動推進委員 廣田 由紀恵
2	8月 3日(火)	防災学習「地震・台風について考えよう！」	備えと災害時の心構えについて学習する	日本赤十字社千葉県支部所属 赤十字防災ボランティアリーダー 清水 重彦
3	8月 4日(水)	縄文体験学習「古代にふれてみよう！」	本物の縄文土器に触れ、実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育振興部文化財課 宿城 孝義
4	12月18日(土) 12月19日(日)	たこ作り大作戦！	たこ作りキットを配布し、各家で制作する	児童青少年課 青少年住民育成会議
5	12月18日(土)	親子で作ろう やさしい寄せ植え	親子で協力して寄せ植え製作する	ハンギング バスケット協会 高橋洋子
6	12月25日(土)	志津地区に伝わる伝統の辻ぎり作り親子体験	佐倉の地域素材を織り交ぜながら、辻ぎり体験を行う	志津歴史同好会
7	2月19日(土)	廃食油で作るエコせっけん	廃食油を再利用して石鹸を作る	千葉県地球温暖化防止活動推進委員 廣田 由紀恵
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止				

- ④ 講座を終えて ちば電子申請サービスを利用して受講受付を行ったが、従来の電話申込を超える多くの申し込みがあり、参加した子どもたちのアンケートでは9割以上が楽しかったと好評だった。今年度は、環境や防災といった生活に関わる講座を新たに実施した。来年度以降も、子どもたちの興味関心につながる佐倉っ子塾志津子ども教室を実施していきたい。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第32期）

- ① 開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域への展開)
- (2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



- ② 募集対象、募集人員

・しづ学入門	成人	30人
・健康とくらし	成人	30人

- ③ 学習目標

・しづ学入門 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。

・健康とくらし 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、様々な情報を学び、地域に還元することを目指す。

④ プログラム

しづ市民大学 「しづ学入門」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月22日(土) 9:30~13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり	【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子 クラス委員・運営委員
2	6月26日(土) 9:30~12:00	志津地域の史跡と名所	【志津公民館 大会議室A】	郷土史研究者 宮武 孝吉
3	7月24日(土) 9:30~12:00	絵図から見る志津地域のあゆみ	【志津公民館 大会議室A】	酒々井町文化財審議会 高橋 健一
4	9月25日(土) 9:30~12:00	志津地域の史跡と名所②	【志津公民館 大会議室A】	郷土史研究者 宮武 孝吉
5	10月23日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡について学ぶ	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市教育委員会 文化課 職員
6	11月13日(土) 9:30~12:00	絵図から見る佐倉城下町	【志津公民館 大会議室A】	國學院大學兼任講師 川名 禎
7	12月11日(土) 9:30~13:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活史 閉講式	【志津公民館 大会議室A】	佐倉市史編さん委員 中澤 恵子 クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月25日(火) 9:30~13:00	開講式・ホームルーム・自己紹介等 1年間を充実した時間にするための仲間づくり	【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子 クラス担当・運営委員
2	6月22日(火) 9:30~12:00	四季の栄養を考える	【志津公民館 大会議室A】	管理栄養士 六崎 美知代
3	7月20日(火) 9:30~12:00	口から始まる健康習慣	【志津公民館 大会議室A】	健康増進課 職員
4	8月31日(火) 9:30~12:00	いざというときの避難所運営ゲームを体験 ※	【志津公民館 大会議室A】	危機管理室 職員
5	9月28日(火) 9:30~12:00	パラリンピック競技「ボッチャ」の体験	【志津公民館 大会議室AB】	元佐倉市職員
6	10月28日(木) 10:00~12:00	スポーツの秋！スポーツクラブ体験	【オークスベストフィットネス上志津】	オークスベスト
7	11月16日(火) 9:30~13:00	モノが片付くと心もすっきりって本当！？ 閉講式	【志津公民館 大会議室A】	整理収納アドバイザー 和泉 きよい クラス委員・運営委員

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12月14日に実施

⑤ 講座を終えて

「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のしづ学入門講座は、例年より講座数を減らしたうえで、歴史・文化の講座がすべて講話での学習となった。本コースは初めてという受講者も多く、今まで知らなかった志津地区の歴史を学べたことで愛着が生まれたとの声も聴こえ、講座の内容については高評価が得られたと考えている。その一方で、7回では受講生同士の交流が少なく物足りない、散策も体験したかった、講師の急逝により貴重な話を受講できなかったことが残念、等々の意見もあがった。コロナ禍の中でできうる限りの事業を行ったが、受講生には不完全燃焼のように感じられたということであろう。次年度以降の講座数については国内や近隣市町村の情勢も見ながら考えていくことになると思われるが、少しずつでも講座の回数を増やし、有益な講座への強化を今後も図っていきたい。

「健康とくらし」 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献、地域に還元する事を目指し学習した。今回は例年に比べ講座の回数が少なかったため、初回のレクリエーションを通して班編成を行ったり、班員が何かしらの役割を担うように役職を設定するなど、短い時間の中でも交流をとれるように講座の構成を行った。9月に行った「ポッチャ」の体験では、パラリンピックの翌月ということもあり、とても熱心に取り組みされる受講者が多くみられた。受講後にどこか食事に行き等、課外活動が難しい社会情勢の中ではあったが、朝のホームルームなど限られた中で、積極的に交流を持ち、閉講式では別れを惜しむ受講生のすがたも見られた。来年度は講座の回数を増やすなどして、市民の学習ニーズにより応えられるよう計画していきたい。

佐倉学特別講座（講演会）

- ① 開設趣旨 本講座は、「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること、また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的として実施する。

今回の講座の内容は、佐倉新町から成田山新勝寺まで故 村田一男氏を偲びながら3日間に分けての散策を設定し成田道について道標等を確認しながら、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、郷土佐倉への理解を深める。

- ② 募集対象 成人 30人

- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月27日(土)	佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源	中央大学文学部准教授 佐倉市史編さん委員 宮間 純一

- ④ 講座を終えて 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、当初30人定員で予定していたが、各部屋の定員緩和（大会議室AB計50人定員から100人定員へ緩和）があり、応募者も多数であったことから、多くのかたに受講いただけるよう、50人を当選とした。本講義ではレジュメとパワーポイントでの画像を併用しながら、古文書・建造物等々、地域の「歴史的資源」の必要性を説いた。とりわけ佐倉の中でも大きな歴史的資源である佐倉城址を題材に「城下町としての佐倉」「軍都としての佐倉」、今の佐倉城址はそれぞれの記憶が溶け合う「記憶の場」となっ

ていることを講じ、最後に「記憶を支える歴史資源」として武家屋敷や堀田家の文書等にも触れて幕を閉じた。講座後のアンケートでは講座満足度の「満足」「やや満足」が72%、講座目的達成度の「達成されている」「少し達成されている」が66%であった。このアンケートには今後の講座への希望や意見をしたためた受講生が多く、これからの佐倉学入門講座への期待が伺えた。

佐倉学入門講座「井野長割遺跡を学ぶ」

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象 成人 10人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月4日(木)	考古学入門ー佐倉の縄文時代ー	文化課職員 松田 富美子
2	11月11日(木)	井野長割遺跡とはー遺跡概要紹介ー	文化課職員 山崎 慧
3	11月18日(木)	遺跡探訪ー知識を深めるー (現地見学)	文化課職員 松田 富美子
4	11月25日(木)	遺跡の経緯ー今後についてー	文化課職員 松田 富美子

- ④ 講座を終えて 「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期（今から約4000～3000年前）に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し、新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、今後の保存や活用について質問や意見を交換しあうなど活発な学習の場となった。

佐倉学入門講座「佐倉道を歩く」

- ① 開設趣旨 佐倉城及び佐倉城下町造成より400年が経過し、かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」や城下町佐倉の周辺地域の歴史について理解を深め、街道に関する醍醐味を感じてもらいながら郷土への関心を高めていく。また、江戸川から佐倉城址までを周辺の史跡も含めて全6回に分けて学び、地域で活躍できる人材を育成する。
- ② 募集対象 成人 6人

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	9月22日(水)	佐倉道を歩く(序論)	佐倉道を歩く会
2	9月29日(水)	江戸川～東中山	
3	10月6日(水)	東中山～薬円台	
4	10月13日(水)	薬円台～勝田台※雨天順延10月27日	
5	10月20日(水)	勝田台～臼井	
6	10月27日(水)	薬円台～勝田台	
7	11月3日(水)	臼井～大手門跡	

- ④ 講座を終えて この講座は、佐倉道に関して街道の史跡についての座学と散策として実施した。さらには、コロナ禍の実施ということもあり、最小限の人数、参加者はしづ市民大学受講生の中からの希望者、実施の際の都度検温等の実施などできる事は全て行ったうえで実施した。初回は、「佐倉道に関する総論」として佐倉道の全体像等の講義を行い、2回目以降は座学で学んだ場所を実際に散策した。散策は現地集合、現地解散の形をとり、街道沿いの史跡散策を実施した。散策は受講生同士が学びや意見交換を啓発することを意図した。散策中は、周囲に注意し事故などにも配慮し効率的に学習をすすめることができた。また、今回の実施は、平成30年度の受講生がボランティア講師としての初の講座であり座学から散策までの講座終了まで成長と成果を魅せていただけた。散策によくある遅れがちな受講生へのサポートもしてくれたため受講生が講師の話の聞き逃がすことがなかった。アンケートでは、概ね好評な結果であった。今回の散策も全員が同じ食事処で昼食をとることで受講生同士の親睦が図れた。歴史を感じることができた。新たな発見があった等の声を聞くことができた。今回の講座では過去の受講生が講師となりガイドをしてくれたが、参加者からはわかりやすい等の声も聞くことができた。

佐倉学入門講座・地域人材育成講座「成田道を歩く」

- ① 開設趣旨 本講座は、「佐倉学」の普及を図りながら、郷土愛を育み、関心を高めること。また、「佐倉の歴史について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の歴史を学習することで、郷土佐倉の創生に繋げることを目的として実施する。

今回の講座の内容は、佐倉新町から成田山新勝寺まで故 村田一男氏を偲びながら3日間に分けての散策を設定し成田道について道標等を確認しながら、成田道や佐倉藩に関わる地を巡り、郷土佐倉への理解を深める。

- ② 募集対象 成人 7人
③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月25日(木)	京成佐倉～京成酒々井	佐倉道を歩く会
2	12月2日(木)	京成酒々井～公津の杜	
3	12月9日(木)	公津の杜～成田山総門前(寺台舎)	

- ④ 講座を終えて この講座は、成田道に関して街道の史跡についての散策を通して学んだ。また、今回の実施については、8月に逝去された「村田一男先生」を慕い集まった教え子の方々と村田先生を偲びながら実施した。さらには、コロナ禍の実施ということもあり、最小限の人数、実施の際の都度検温等の実施などできる事は全て行ったうえで実施した。散策は、村田先生が生前作成した「資料」を基に史跡等の学習と確認をしながら進め、村田先生から教わった成田道の当時の役割も考えながら成田道や佐倉藩に関わる地を巡った。

包丁について学ぶ

- ① 開設趣旨 今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、ステイホーム（在宅）する時間が増え、料理に興味を持つ方も増えている報道がある。そこで、調理講座はできないが、包丁研ぎを学び、料理に役立てる。
- ② 募集対象 成人 6人
- ③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月30日(火)	包丁の歴史・製法・手入れ方法	調理師 山崎 憲

- ④ 講座を終えて コロナウイルス感染症の対策として、定員を絞り講座を行った。座学では包丁に関する歴史や製法、その材質等幅広く学び、実際に包丁研ぎ体験を行った。体験では包丁の扱いに慣れない方から、普段から包丁研ぎを行っている方まで様々だったが、少人数であったため、一人ひとりに先生が指導を行う事ができ、アンケート結果でも満足度の高い講座となった。受講生からは包丁の扱い方に関する質問が多く、家で実践することを前提に受講されている様子であった。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会（書面開催）

- ① 開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として書面による開催とした。
- ② 募集対象 志津公民館利用グループ・団体の代表者
- ③ 学習内容
 - ・志津公民館の施設使用について
 - ・公民館の役割について
 - ・令和3年度志津公民館サークル運営研修会ご意見等提出用紙による意見交換
 - ・第47回志津公民館祭について
- ④ 今後に向けて 各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに則した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用サークル懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

志津地区社会教育関係団体への援助

- ① 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ② 加入団体 単位子ども会 8団体
- ③ 活動内容
 - ・活動支援相談・連絡調整

公民館園芸ボランティア団体への支援

- ① 概要 志津園芸サークル「花の輪」は、以前志津公民館で開催していた「園芸講座」を受講した人たちが、公民館や上座公園の敷地内の花壇等の手入れをボランティアとして行い、かつ園芸講座の講師に、引き続き花の知識等を教わりながら、活動を継続している。公民館は、それらにおける園芸・学習活動の支援を継続している。
- ② 主な活動
 - ・公民館敷地内の花壇の手入れ
 - ・上座公園の花の手入れ
 - ・花についての自主学习

5. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

- ① ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ② 発行回数 年2回（4月・10月）
- ③ 発行部数 各回12,000部
- ④ 配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架
- ⑤ 内容

第249号 (令和3年4月15日)	第250号 (令和3年10月1日)
<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ・笑顔で子育て応援講座 ●お知らせ ・令和3年度志津公民館サークル運営研修会（書面開催）について ・第47回志津公民館祭について ・サークルの登録情報変更について ・臨時休館の際のご連絡について ・サークル団体情報掲示スペースについて 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 講演会 佐倉の城・城下町の記憶と歴史資源 ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ・お家時間応援講座 包丁について学ぶ ●お知らせ ・志津公民館インターネット抽選に申し込まれる方へ ・駐車場を利用される方へ ・公民館来た時よりも美しく

- ⑥ 今後に向けて 今年度は、年2回「公民館だより」を発行した。これまで、サークル団体情報掲示スペースは団体の解散届の提出、返却や消去依頼があるまで掲示したままであったが、令和3年度から1年ごとの更新制としたことを広く周知することができた。志津公民館は800団体を超える利用登録があるため、引き続き公民館だよりを活用して情報発信を行っていきたい。

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理事業施行地区内に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集積した地区が形成され、臼井地区の核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、「臼井ふるさとにぎわい祭り」や「佐倉チューリップ・フェスタ」などのイベントが開かれている。臼井公民館に併設されている佐倉市民音楽ホールでは、そのすばらしい響きで定評のあるホールの特性を生かし、クラシックを中心とした国内外の著名なアーティストのコンサートや演劇などの他、様々なイベントで市民のみならず、市外からのお客様を楽しませている。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され、小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティ活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【令和4年3月末現在】

- 臼井・千代田地区：面積 約18.5km²（佐倉市：面積 103.69km²）
- 臼井・千代田地区：住基人口 40,150人（佐倉市：住基人口 171,747人）
- 臼井・千代田地区：人口密度 2,170人/km²（佐倉市：人口密度 1,656人/km²）

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

施設利用者等の健康と安全を最優先に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じていく。

感染状況に応じて、臨時休館や一部開館などを実施する。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施、感染予防の啓発のほか、状況に応じて、部屋の定員や集団感染のリスクが高いとされている活動の利用を一部制限する。

市公共の集会施設合同で策定した『新型コロナウイルス感染症拡大防止の注意事項』及び『「集団感染拡大のリスクがあると考えられる活動」における施設利用の留意点』を当面の間適用していく。

運営方針

臼井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりを目指した事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を援助することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

努力目標

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。
- より多くの市民に親しまれ活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮させるよう努める。

施設利用

開館日・開館時間

①月・火・木・日曜日、祝日 9時～17時

②水・金・土曜日 9時～21時

※夜間の利用予約が無い場合は17時で閉館

(図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9時～17時に開館する。なお、月曜日、第1火曜日が祝日に当たる場合は開館し、翌日以降の平日に休館する。)

休館日 第2・第4月曜日、年末年始12月28日～1月4日

利用区分 1時間単位(9時～21時)

※利用の受付は原則として、利用日の2か月前の月の2日(1月のみ6日)の利用抽選会から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の利用は利用日の前々月末日から受け付ける。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
利用件数 (件)	2,530	2,394	2,072	753	1,547
利用人数 (人)	45,325	41,159	36,492	7,095	15,596
開館日数 (日)	333	332	309	229	331

※市内公民館の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応
令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 4 年 3 月 3 1 日・・・一部利用制限付き

令和 3 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
集会室	3,213	1,381	43.0%
学習室	3,213	1,229	38.3%
創作室	3,213	1,212	37.7%
展示室	3,213	1,231	38.3%
和室	3,213	739	23.0%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	BOOK&PARK (公園ライブラリー)	幼児～成人 30人	5/23 30人 5/30 80人 6/27 39人	誰もが気軽に利用する公園に絵本や図鑑を展示し、子供たち向けに絵本の読み聞かせや、公園にある草花を図鑑で調べるワークショップを行い、本の世界に親しみを持てるよう実施した。
	ストリートオルガンコンサート	幼児～成人 30人	4月～3月 6回	佐倉市民音楽ホールが所有する3台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催する。演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行う。
青少年教育	水辺観察会 「夏休み子供水辺探検ツアー」	小学校 4～6年生 20人	7月 1回	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なもの捉える目を養う講座。(生活環境課共催事業)
	バックステージツアー	小学生と保護者 3組	8/ 5 3組 9人	音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏・奈落などの見学と、催し物を陰で支える音響、照明などを操作体験し、舞台芸術の仕事への理解を深めた。(市民音楽ホール共催事業)
	星空観測教室	小学生 15人	8月 1回	星空についての解説や望遠鏡による惑星等の観測をすることで星空の世界に親しんでもらい、理科教育の興味関心を引き立てることを目的とする。(草ぶえの丘共催事業)
	小6科学実験室	小学校6年生 10人	12/ 5 6人	「エンピツを倒さず抜こう!」「本当に見てる?」「雲をつくろう!」「あなたもこれで超能力者!」「遠くに転がした缶が…」「理科に関するお話アレコレ」と題し、学校ではなかなか行わない種類の実験や工作作業を通して「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」などといった、中学校で学習する理科科学の原理・法則について学習した。
成人教育	佐倉学体験講座 「バスハイク」	成人 20人	10月 1回	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。
	佐倉学 佐倉学専門講座 「千葉臼井家譜」刊行記念～秀胤と臼井氏～	成人 25人	4/10 24人 4/18 26人 4/24 25人	臼井氏の家譜を編集した臼井城主の末裔である臼井秀胤(信齊)は、江戸から臼井へ隠棲し先祖ゆかりの円応寺に家譜を納めた。令和2年9月、円応寺に残る「千葉臼井家譜」をもとに、臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会から現代語訳が刊行された。本書をテキストに同実行委員会の森秀夫氏が臼井氏を考察した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	ちよつといいとこ見て歩き	成人 各20人	3月 1回 検討中	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
	防犯講座	成人 25人	5/ 9 20人	高齢者に多発する特殊詐欺の実態や詐欺の手法を寸劇を交えて紹介することで、詐欺被害の防止に向けた啓発を行なった。
コミュニティ	コミュニティ カレッジさくら	18歳以上 30人	1年次 13講座 7人 2学次 14講座 15人	5月～2月の金又は土曜、月2日程度。14日間実施 1年次：基礎講座 活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学んだ。 2年次：実践講座 地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源(人材等)を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学んだ。
団体育成	臼井地区子ども会育成会連絡協議会	加盟子ども会 5団体	4/25 9人	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行う。 4/25 臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会
広報・展示活動	臼井公民館だより	臼井・千代田地区 1,300部	年1回 3月	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供する。
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年 当面の間閉鎖	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行う。来室者が特定できないため、当面の間閉鎖する。
	サークル展示 活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与した。

1. 家庭教育事業

BOOK & PARK (公園ライブラリー)

①開設趣旨 誰もが気軽に利用する公園に絵本や図鑑を展示し、子供たち向けに絵本の読み聞かせや、公園にある草花を図鑑で調べるワークショップを行う。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とする。(佐倉図書館共催)

②募集対象 幼児～成人 30人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	5月23日(日) 13:30～15:30	①「図鑑ライブラリー」～身近なお宝、発見！ ②「えほんパーク～季節の絵本やわらべ歌の紹介」	「漂流する図鑑ライブラリー」 実施者 読書推進の活動者
2	5月30日(日) 10:00～16:00		
3	6月27日(日) 10:00～16:00		

④講座を終えて 第1回は公民館隣接の御伊勢公園で実施したほかは、地区内にある七井戸公園会場の「染井野ファーマーズマーケット」開催に合わせて実施した。屋外開催の図書ワークショップとして、親子連れや図書館を利用する機会が少ない層へもアピールすることができたと思われる。

ストリートオルガンコンサート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 青少年教育事業

水辺観察会 「夏休み子供水辺探検ツアー」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

バックステージ・ツアー

①開設趣旨 市民音楽ホールの普段見普段見ることのできないバックステージの見学と、演奏会を支えている音響、照明の操作などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。

(佐倉市民音楽ホール共催事業)

②募集対象 小学生と保護者 3組

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月 5日(木) 10:00~12:00	前半は、音楽ホールの施設を見学し、後半は、実際のホール・スタッフの仕事(コンサート開始の流れ)を体験してもらう。	市民音楽ホール職員

④講座を終えて この講座は、音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏にスポットを当て、奈落などのエリアを見学するとともに、壇上「ひのき舞台」を陰で支える音響・照明などの裏方作業を体験し、総合芸術作品である舞台の世界の仕事への理解を深めた。市民音楽ホールと併設されている臼井公民館独特の講座。

星空観測教室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

小6理科実験室

①開設趣旨 「子どもの理科離れ」が叫ばれるなか、学校ではなかなか行わない種類の実験や簡単な工作作業を通して理科科学に興味をもってもらい、また、中学校理科学習への関心を深めることを目的とする。

②募集対象 小学校6年生 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月 5日(土) 9:30~12:00	エンピツを倒さず抜こう！ 本当に見てる？ 雲をつくろう！ あなたもこれで超能力者！ 遠くに転がした缶が… 理科に関するお話アレコレ	理科マスター 根本 栄治

④講座を終えて 「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」など、中学校で学習する理科科学の原理・法則について様々な実験を通して学習した。次年度以降も小学6年生を対象に継続して実施したいと考えている講座である。

3. 成人教育事業

佐倉学体験講座 「バスハイク」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

佐倉学専門講座 「千葉臼井家譜」刊行記念 ～秀胤と臼井氏～

①開設趣旨 令和2年9月、円応寺に残る「千葉臼井家譜」をもとに、臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会から現代語訳が刊行された。本書をテキストに同実行委員会の森秀夫氏が臼井氏の興亡を考察する。前年度、緊急事態宣言を受け1回の開催で中断していた講座の続きを実施した。

②募集対象 成人 25人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	4月10日（土） 13:30～15:30	ー 臼井氏の家譜を編集した臼井城主の末裔である臼井秀胤（信齊）は、江戸から臼井へ隠棲し先祖ゆかりの円応寺に家譜を納めた… ー	臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会 森 秀夫
2	4月18日（日） 10:00～12:00	昨年9月、円応寺に伝わる「千葉臼井家譜」をもとに、臼井八景・八ヶ寺めぐり実行委員会により現代語訳が刊行された。本書をテキストに、同実行委員会の森氏の解説により家譜を考察した。	
3	4月24日（土） 13:30～15:30		

④講座を終えて 昨年度、コロナ禍により中断した本講座だったが受講者の期待度は高く、内容を継続し実施した。地元を治めた臼井一族への住民の興味は大きなものがあり、受講満足度も高く、地域文化への理解を深める機会となった。

ちょっといいとこ見て歩き

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

防犯講座

①開設趣旨 高齢者に多発する特殊詐欺（振り込め詐欺）被害の防止に向けた啓発を行う。

②募集対象 成人 25人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月9日（日） 13:30～15:30	高齢者に多発する特殊詐欺（振り込め詐欺）被害の防止に向けた啓発を行う。	友崎 彰

④講座を終えて いまだ根絶されない特殊詐欺に関して実態を知り、その被害者とならないための対処法などを学んだ。受講者は真剣な態度で臨み、もしもの時にも慌てず安全に対処できる知識を得たものと思われる。

4. コミュニティ事業

「コミュニティ事業」は、自らの居住地での人間関係を見直し、地域で共に生活し、見守り、支え合い、日常生活で声を掛け合いながら、地域づくり（防災・防犯、少子高齢化、まちの活性化等のまちづくり）に参加する人材の育成を図るため開設する。

市民協働の取り組みの一つとして、学習者一人ひとりの持つ、技術・知識・能力を高め、次世代に継承してもらうだけではなく、地域リーダーとして多種多様な取り組みを、佐倉の様々な地域において実践いただくことにより、社会の人と人との絆を深め、お互いを支え合う地域社会の形成を目指す。

『コミュニティカレッジさくら（2年制）』

- ・1年次：基礎講座

活力ある地域社会とするため、地域課題の発掘や、多種多様な人々が集う場での合意形成能力を培うと共に、家庭・家族との地域的役割、乳幼児や小中学生を取り巻く社会環境や課題等について学ぶ。

- ・2年次：実践講座

地域で主体的に課題解決に向けた実践活動を行うため、地域の各種資源（人材等）を活かした、様々な地域活動例、具体的な実践手法等、共に生き、支え合う地域づくりについて学ぶ。

コミュニティカレッジさくら

○特色

- ・地域で共に生活し、支え合い、地域づくりに参加する地域人材の育成を図るための学習の場。学んだ成果を生かし、地域の様々な場面で多種多様な活動を実施し、元気で住み良い、活力ある佐倉市の地域づくりやまちおこしに貢献することを期待する。

○概要

- ・受講資格 : 佐倉市内在住・在勤の18歳以上の方
設置目的に共感と賛同をし、2年間通学できる方
- ・定員 : 30人
- ・費用 : 無料（資料代等実費徴収）
- ・開催日時 : 5月～2月の金曜または土曜 おおむね月2日程度 18日実施予定
講義時間 午前10時～12時 午後1時～3時

令和3年度 コミュニティカレッジさくら 第1学年 基礎講座 学習カリキュラム

学習時間		10:00 ~ 12:00	
回	月日(曜日)	テーマ	講師
1	5月18日(土)	○入学式 ○「教えられること、教えられないこと」を考える	学長(佐倉市長) 千葉敬愛短期大学 学長 明石 要一
2	5月22日(土)	○よりよいコミュニケーションとは ～話し方、伝え方～	千葉敬愛短期大学教授 鈴木 健一
3	6月12日(土)	○地域のリーダーになるために ～地域の人の意見をまとめるには～	千葉敬愛短期大学准教授 清水 一巳
4	6月26日(土)	○よりよく「聴く」ことへの「責任」 ～守秘義務と個人情報の扱い・傾聴技術の習得～	千葉敬愛短期大学教授 大野 雄子
5	7月24日(土)	○異年齢社会の構造と課題 ～小・中学生が抱えているもの～	千葉敬愛短期大学教授 鈴木 健一
6	9月4日(土)	○地域課題の発掘 ～実践現場より～ 福祉ボランティアの活動	社会福祉協議会
7	9月11日(土)	○地域課題の発掘 ～市の計画から見る地域課題～	企画政策課
8	10月9日(土)	○地域課題の発掘 ～他市の実践より～ コミュニティビジネス NPO活動	NPOクラブ 代表理事 牧野 昌子
9	10月23日(土)	○地域課題の発掘 ～各分野における地域課題①～ ・商工業・農業・防犯・防災	佐倉市担当課職員
10	11月6日(土)	○地域課題の発掘 ～各分野における地域課題②～ 子育て・福祉(全般、高齢者対策)	佐倉市担当課職員
11	11月27日(土)	○身近な人権 ～ひとを人として認める地域とは?～	元千葉敬愛短期大学教授 松本 峰雄
12	12月11日(土)	○家庭・家族と地域の社会的役割 ～青少年を取り巻く現代社会の環境～	千葉敬愛短期大学教授 新田 司
13	1月29日(土)	○ 現地見学会(香取市) ～他市町における先進的な取り組み～	コーディネーター 事務局
14	2月19日(土)	○2学年研究発表会を通して【1・2年合同】 ～2年生の研究発表をもとに考える～	コーディネーター 事務局
15 ～ 18	9月～2月 (各班の計画による)	○自主学习	コーディネーター 事務局

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として半日のカリキュラムに短縮して実施しました。

※1月29日(土)の現地見学会は、まん延防止等重点措置区域に千葉県が指定されたことから中止としました。

令和3年度 コミュニティカレッジさくら 第2学年 実践講座 学習カリキュラム

学習時間		10:00 ~ 12:00	
回	月日(曜日)	テーマ	講師
1	5月21日(金)	○コミュニティについて 身近な地域のコミュニティとは 身近なコミュニティ施設:学校・自治会館・寺等 身近なコミュニティ:自治会・NPO等の各種団体	千葉大学 大学院教授 清水 洋行
2	6月4日(金)	○コミュニティについて 地方分権時代の佐倉の課題	千葉大学 大学院教授 清水 洋行
3	6月18日(金)	○地域活動を行うために NPO法人の設立について	NPOクラブ代表理事 牧野 昌子
4	7月30日(金)	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで子育て支援実践例～	千葉敬愛短期大学教授 吉村 真理子 子育て支援センター 児童センター
5	8月6日(金)	○コミュニティについて 地域住民が手を取り合う事例	関東学院大学准教授 小山 弘美
6	8月20日(金)	○地域の様々な実践 ～実践者を囲んで民生委員・児童委員～	民生委員・児童委員協議会 社会福祉協議会
7	9月3日(金)	○地域の様々な実践 ～自治会・町内会の状況～	自治人権推進課
8	10月1日(金)	○福祉施設(佐倉白翠園)での体験実習	コーディネーター 事務局
9	10月29日(金)	○地域活動を行うために 市民協働型事業等について	自治人権推進課 市民公益活動サポートセン ター
10	11月5日(金)	【13:00~15:00に実施】 ○地域の様々な実践 ～他市町における先進的な取り組み～	松戸市常盤平団地地区社協 会長 大嶋 愛子
11	12月3日(金)	○地域の課題を考える ～認知症の課題をもとに～	高齢者福祉課
12	12月17日(金)	○地域の様々な実践 ～防災・安全～ 自主防災など	危機管理課
13	1月21日(金)	○地域の課題を考える ～青少年を取り巻く環境と課題～ 社会背景を考えよう	淑徳大学短期大学部教授 佐藤 まゆみ
14	2月19日(土)	○研究発表【1・2年合同】 ～2年生卒業発表会を通して～ ○修了式	コーディネーター 事務局
15 ～ 18	9月～2月 (各班の計画による)	○自主学習	コーディネーター 事務局

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、原則として半日のカリキュラムに短縮して実施しました。

※10月1日(金) 福祉施設での体験実習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定を変更し、佐倉白翠園から講師に来館いただき、講義形式で実施しました。

5. 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

①開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展を願い、関係機関団体との連携を図りながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。

②対象団体 5団体

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	参加者
1	4月25日（日）	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会	9人
2	7月	臼井地区子連 第1回役員会 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	
3	8月21日（土）	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 （御伊勢公園周辺） 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	
4	11月	臼井地区子連 第2回役員会 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	
5	12月12日（日）	佐倉市中央交流フェスティバルに参加 （佐倉市民体育館） 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	
6	2月6日（日）	臼井地区子連 第3回役員会	7人
7	3月	臼井地区子連 卒業バスハイキング 【新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止】	

6. 広報・展示事業

臼井公民館だより

新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業中止のため発行見合わせ

まちづくり資料室の展示

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉鎖

サークル展示活動支援

- ①趣旨 臼井公民館展示室は、市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供されている。また、通常の学習にも多目的利用されている。
- ②対象 市内で活動実績のある団体を優先する。
- ③使用について 予約受付は使用月の6ヶ月前の初日（1月のみ5日）。使用期間は1団体につき、火曜日から日曜日までの6日間を原則とする。
- ④展示活動団体数 10団体（令和3年度）
- ⑤観覧者数 2,312人（令和3年度）
- ⑥使用料 1時間あたり210円（市外団体の場合420円）

令和3年度開催展示会一覧

※ 入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者 (ジャンル)	期日	入場者数 (人)
1	白蝶会展	白蝶会 (絵画)	4 / 4 ~ 4 / 7	154
2	第29回 書を板に彫る「刻字」展	佐倉刻字愛好会 (刻字)	4 / 20 ~ 4 / 25	151
3	第29回 杉の子水彩画展	杉の子 (絵画)	7 / 6 ~ 7 / 10	226
4	第20回 アビロン絵画展	水彩画グループ AVIRON (絵画)	7 / 13 ~ 7 / 18	400
5	市高連 作品展	佐倉市高齢者クラブ連合会 (絵画・工芸)	9 / 7 ~ 9 / 10	257
6	第13回 吐夢展	吐夢の会 (絵画)	9 / 14 ~ 9 / 19	282
7	第5回 絵画サークル「創」展	絵画サークル「創」 (絵画)	10 / 5 ~ 10 / 10	237
8	しづ美術サークル 作品展	しづ美術サークル (絵画)	11 / 14 ~ 11 / 19	156
9	第10回 水彩仲間18 作品展	水彩仲間18 (絵画)	11 / 23 ~ 11 / 28	240
10	「遊の仲間たち」 新春文化展	佐倉蕎麦づくり倶楽部 (絵画・工芸)	1 / 11 ~ 1 / 16	209
計		10団体		2,312

7. 図書事業

○開室日・開室時間	火（第1火曜日を除く）～日曜日 9：00～17：00
○休 室 日	月曜日・第1火曜日・年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間（月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）
○貸 出 方 法	登録制で貸出券による。1回につき1人10冊まで15日間貸出する。
○蔵 書 数	<ul style="list-style-type: none"> ・一般図書 27,134冊 ・郷土資料 1,830冊 （音楽関係図書を含む） ・その他 39冊 ・児童図書 12,300冊 ・楽譜 4,264冊 ・洋書 59冊 ・参考図書 593冊 蔵書冊数 46,219冊（令和4年3月末現在） ・雑誌 23誌 ・新聞（朝刊） 7紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	3,950	3,927	3,899	3,896	3,901	3,975	3,934	3,813	3,530	3,525	3,745	4,382	46,477
貸出 冊数 (冊)	12,061	12,321	11,887	12,208	13,013	12,528	12,328	12,025	11,547	11,050	11,818	13,803	146,589
開館 日数 (日)	25	26	25	26	24	24	26	24	22	23	23	26	294

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

令和3年度

佐倉市立公民館のまとめ